LP-M5000シリーズ

取扱説明書
ソフトウェア編

コンピュータから印刷する方法、スキャンする方法を詳しく説明しています。

目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD3913-00

マークの意味

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品が損傷したり、本製品、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.5.x の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 Operating System 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows Server 2003」「Windows XP」「Windows Vista」「Windows Server 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.5.x
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

モデル名の表記とイラスト

- 本書では、本製品の製品名を下記のように表記しています。
  LP-M5000　：標準モデル
  LP-M5000A：ADF モデル
  LP-M5000F：ファクスモデル
- 本書では、LP-M5000A のイラストを使用して各種手順を説明しています。

商標

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

-Lib TIFF-<http://www.libtiff.org/>
Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Monotype is a trademark of Monotype Imaging, Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
The UFST® (Universal Font Scaling Technology™) product is Monotype Imaging's scalable font rendering subsystem for printerdevices.
MicroType® font compression technology from Monotype Imaging works with the UFST® font rendering subsystem to significantly reduce font file sizes.
Monotype Imaging's MicroType® font format is a MicroType-compressed font format.
Arial, Times New Roman are trademarks of The Monotype Corporation registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
Arial, Times New Roman, Courier, Wingdings and Symbol are licensed from Monotype Imaging, Inc.

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.
The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely and a copy at http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries)must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP"(or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

もくじ

1 印刷編

Windows での使い方

同梱の『ソフトウェア CD-ROM』には、プリンタドライバなど本製品を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタドライバの使い方

コンピュータのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタドライバが必要です。プリンタドライバでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタドライバは、『取扱説明書 セットアップ編』（冊子）の手順に従ってセットアップするとインストールされます。

設定画面の開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の例を説明します。

1 **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］画面を表示させます。**

2 **［プリンタの選択］で本製品を選択して［詳細設定］（Windows 2000 の場合は［プロパティ］）をクリックします。**

以上で終了です。

［スタート］メニューから開く

Windows の［スタート］メニューからプリンタドライバのプロパティを開きます。ここでの設定は、アプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になりますので、よく使う値を設定しておくと便利です。

ここでは、代表的な方法を説明します。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

Windows Vista/Windows Server 2008:
［ （スタート）］—［コントロールパネル］—［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003:
［スタート］—［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000:
［スタート］—［設定］—［プリンタ］の順にクリックします。

2 **本製品のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［印刷設定］または［プロパティ］をクリックします。**

［印刷設定］または［プロパティ］で設定できる機能が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

参考

- ［プロパティ］を設定するには、標準ユーザー以上の権限が必要です。
- Windows2000/Windows XP で［印刷設定］を変更するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。Windows Vista で［印刷設定］を変更するには管理者権限が必要です。

以上で終了です。

設定項目の概要

設定画面の概要を説明します。

設定画面の開き方は以下を参照してください。

本書 6 ページ「設定画面の開き方」

各設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。

本書 8 ページ「ヘルプの見方」

［基本設定］画面

印刷の基本的な設定をします。

［応用設定］画面

拡大/縮小印刷、印刷品質などを必要に応じて設定します。

［環境設定］画面（印刷設定）

取り付けたオプションの確認ができるほか、プリンタドライバの動作環境に関する設定をします。

[環境設定]画面(プリンタのプロパティ)

取り付けたオプションの設定や確認、プリンタドライバの動作環境に関する設定をします。

設定画面は、[スタート] メニューからのみ開けます。

☞ 本書 6 ページ「[スタート] メニューから開く」

[ユーティリティ]画面(印刷設定)

Epson ステータスモニタ(プリンタ監視ユーティリティ)の動作に関する設定をします。Epson ステータスモニタをインストールすると、すべての項目が表示されます。

[ユーティリティ]画面(プリンタのプロパティ)

画面の内容は、「[ユーティリティ] 画面(印刷設定)」と同様です。

設定画面は、[スタート] メニューからのみ開けます。

☞ 本書 6 ページ「[スタート] メニューから開く」

ヘルプの見方

プリンタドライバの各設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプに掲載されています。ヘルプ画面は以下の３つの方法で開けます。

方法１

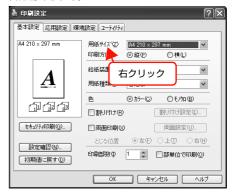
調べたい項目がある画面の [ヘルプ] をクリックします。

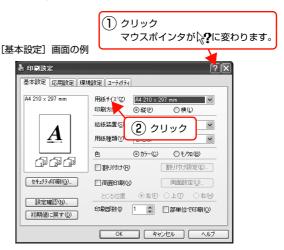
[基本設定] 画面の例

方法２

調べたい項目の文字の上で右クリックして、表示されたヘルプをクリックします。

[基本設定] 画面の例

方法３

?をクリックしてから、調べたい項目の文字の上でクリックします(Windows Vista/Windows Server 2008 は除く)。

[基本設定] 画面の例

プリンタの監視

本製品のエラーや消耗品の残量、印刷の進行状況などがコンピュータ上で確認できます。これは、Epson ステータスモニタ（プリンタ監視ユーティリティ）の機能です。

Epson ステータスモニタは、『取扱説明書 セットアップ編』（冊子）の手順に従ってセットアップすると、プリンタドライバと同時にインストールされます。

使用条件

Epson ステータスモニタでは、以下の環境で使用している本製品の監視ができます。

ローカル接続

コンピュータのインターフェイスが双方向通信に対応していること。

Windows XP のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続された本製品へ印刷すると、Epson ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、正常に印刷されます。

＊ 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションソフトやファイルへアクセスし、操作することができる機能。

TCP/IP 直接接続

EpsonNet Print または Standard TCP/IP 接続であること。

Windows 共有プリンタ

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、タスクトレイの［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックが付いていること。
- Windows Vista で複数ユーザーで同時に共有プリンタを監視する場合は、Epson ステータスモニタの［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックが付いていること。
  ただし、Windows Vista 環境のクライアントでは、ユーザーの簡易切り替え * によって複数のユーザーから同時に共有プリンタの監視はできません。

  ＊ 1 つの OS に、同時に複数のユーザーがログインできる機能。

参考

- IPP印刷では、ネットワークプリンタの監視はできません。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ上）で、［共有プリンタを監視させる］をチェックした後でプリンタの接続先を変える場合は、一旦このチェックを外して［OK］をクリックしてから、再度チェックしてください。
- Windows Vista の［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックすると、Windows Vista のユーザーアカウント制御により、プログラムの実行を許可する確認画面が表示されます。確認画面では、［続行］をクリックしてください。

エラーの表示

コンピュータからの印刷中にエラーが発生すると、［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

エラーが解消されると、画面は自動的に閉じます。

［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態の確認

［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くと本製品の状態が確認できます。

画面の開き方は以下の通りです。

タスクトレイから本製品を選択し、［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］を選択します。

［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］は、タブをクリックして切り替えることもできます。

各画面の概要

［簡易ステータス］画面

本製品の状態を示すメッセージが表示されます。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

本製品の状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

①アイコン / メッセージ

本製品の状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

②イラスト / メッセージ

本製品の状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストが表示されます。エラーが発生すると、対処方法が表示されます。

③［PDF で詳しく見る］ボタン

取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている環境下で、紙詰まりや消耗品の寿命など特定のエラーが発生したときに表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。

［通知設定］画面の［取扱説明書を参照する］のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 12 ページ「監視・通知の設定」

！重要

Adobe Reader のインストール直後は、このボタンから Adobe Reader を起動できません。あらかじめ Windows の［プログラム］または［すべてのプログラム］から Adobe Reader を起動して、使用許諾契約書に同意してからお使いください。

[交換品情報]画面

交換部品の寿命（残量）などが表示されます。画面右上の表示切り替えボタン［◀］/［▶］をクリックすると、画面が切り替わります。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

②トナー

トナーカートリッジの寿命の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する色のアイコンが点滅します。

③感光体ユニット

感光体ユニットの寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

④現像ユニット

現像ユニットの寿命の目安を表示します。現像ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する色のアイコンが点滅します。

⑤二次転写ユニット

転写ユニットの寿命の目安を表示します。転写ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑥定着ユニット

定着ユニットの寿命の目安を表示します。定着ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑦メンテナンスユニット

メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑧給紙ローラ

給紙ローラの寿命の目安を表示します。給紙ローラに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する給紙装置のアイコンが点滅します。

⑨ADF メンテナンスユニット

ADF メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。ADF メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

[ジョブ情報]画面

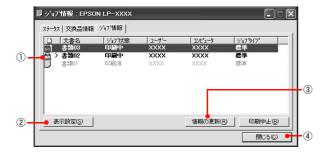
ネットワーク環境で印刷中または本製品で処理中のジョブの状態が表示されます。

TCP/IP 接続のネットワーク環境で、かつ以下の条件を満たすときに使用できます。

- プリントサーバを介した共有設定

プリントサーバの OS	Windows 2000/ Windows Server 2003/ Windows Vista/ Windows Server 2008
クライアントの OS	Windows 2000/ Windows XP/ Windows Vista
プリンタとプリントサーバの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

- プリントサーバを介さないネットワーク接続

クライアントの OS	Windows 2000/ Windows XP/ Windows Vista
プリンタとクライアントの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

① ジョブリスト

コンピュータでスプール中または本製品で処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブでは、以下の情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

② [表示設定] ボタン

ジョブリストの表示内容を設定します。

表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。また、項目を選択してから［上へ］/［下へ］をクリックすると、ジョブリスト内での表示順序が変更できます。

③ [情報の更新] ボタン

最新のジョブ情報を表示します。

④ [印刷中止] ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。

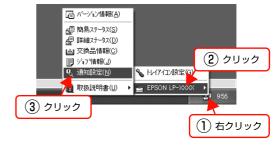
ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

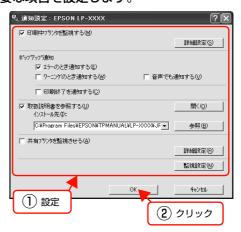
監視・通知の設定

Epson ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタを監視するかなどを設定します。

設定方法は以下の通りです。

1 **タスクトレイまたはプリンタドライバの［ユーティリティ］画面から［通知設定］画面を開きます。**

タスクトレイから開く場合

プリンタドライバから開く場合

2 **必要な項目を設定します。**

設定項目の詳細は、画面のヘルプを参照してください。

☞ 本書 8 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

トレイアイコンの設定

タスクトレイにあるEpsonステータスモニタのアイコンを、印刷していない状態でダブルクリックしたとき、どのプリンタの何を表示するか設定します。印刷しているときは、印刷中のプリンタの簡易ステータスが表示されます。
設定方法は以下の通りです。

1 **タスクトレイの Epson ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［トレイアイコン設定］をクリックします。**

2 **［トレイアイコン設定］画面で、［プリンタ］と［表示する情報］を選択します。**

以上で終了です。

Mac OS X での使い方

同梱の『ソフトウェア CD-ROM』には、プリンタドライバなど本製品を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタドライバの使い方

コンピュータのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタドライバが必要です。プリンタドライバでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタドライバは、『取扱説明書 セットアップ編』（冊子）の手順に従ってセットアップするとインストールされます。用紙や印刷の設定をする前に、［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を選択してください。セットアップ時に選択してから変更していなければ、再選択する必要はありません。

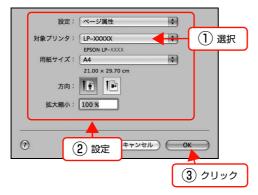
☞『取扱説明書 セットアップ編』（冊子）「コンピュータの接続と設定」

ページ設定

アプリケーションソフトで印刷データを作成するときに、プリンタドライバの［ページ設定］画面で、用紙サイズなどを設定します。

1 **［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。**
アプリケーションソフトによってメニュー名が異なります。

「テキストエディット」の例

2 **［対象プリンタ］から本製品を選択して必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。**

設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。

☞ 本書 15 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

プリント設定

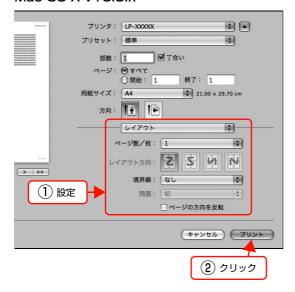
作成したデータを印刷するときは、［プリント］画面で印刷関連の設定をします。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

2 **Mac OS X v10.5.x は、矢印（▼）をクリックします。**

3 **必要な項目を設定し、［プリント］をクリックします。**

印刷が実行されます。
アプリケーションによっては、独自の設定画面を表示するものもあります。

Mac OS X v10.5.x

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x

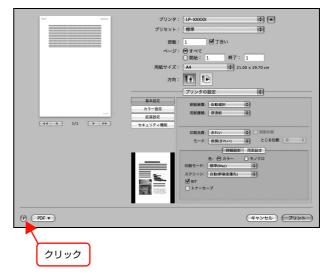
設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。
☞ 次項「ヘルプの見方」

以上で終了です。

ヘルプの見方

プリンタドライバの各設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプに掲載されています。

調べたい項目がある画面の ? をクリックすると、ヘルプが表示されます。

［プリント］画面の例

プリンタの監視

本製品のエラーや消耗品の残量、印刷の進行状況などがコンピュータ上で確認できます。これは、プリンタドライバとともにインストールされる Epson ステータスモニタの機能です。

エラーの表示

コンピュータからの印刷中にエラーが発生すると、Epson ステータスモニタの［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

［簡易ステータス］画面は、エラーが解除されると自動的に閉じます。

［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態の確認

［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くと本製品の状態が確認できます。

各画面の開き方は以下の 2 通りあります。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x は、［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を追加した後は、一度印刷設定画面を開いてください。印刷設定画面を開くと、プリンタ情報の取得を開始します。

方法 1

1 **Dock にある Epson ステータスモニタのアイコンをクリックします。**

［プリンタ設定ユーティリティ］で設定したデフォルトプリンタの Epson ステータスモニタが起動します。

Mac OSX v10.4.x ～ v10.5.x では、プリンタドライバをインストール後、再ログインまたは OS を再起動するとアイコンが表示されます。

2 **［ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］のいずれかを選択して画面を切り替えます。**

- クリックして画面を切り替えます。

- ［ウィンドウ］メニューで本製品を選択してから、表示したいメニューを選択します。

［簡易ステータス］が画面上に表示されていないとき、メニューから［簡易ステータス］はグレーアウトし、選択できません。

以上で終了です。

方法2

Mac OS X v10.5.x：

1 ［システム環境設定］－［プリントとファクス］から本製品を選択し、［プリントキューを開く］をクリックします。

2 プリントキュー画面上の［ユーティリティ］をクリックします。

3 ［ステータス］、［交換情報］、［ジョブ情報］のいずれかをクリックして切り替えます。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

1 ［プリンタ設定ユーティリティ］の［プリンタリスト］から本製品を選択し、［ユーティリティ］をクリックします。

参考

本製品を Rendezvous/Bonjour 接続している場合は、［プリンタリスト］画面の［ユーティリティ］をクリックしても、Epson ステータスモニタは起動しません（Mac OS X の仕様により、WEB ブラウザが起動します）。Dock から Epson ステータスモニタを起動してください。

2 ［ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］のいずれかをクリックして画面を切り替えます。

以上で終了です。

各画面の概要

[簡易ステータス]画面

本製品の状態を示すメッセージが表示されます。[詳細]をクリックすると[詳細ステータス]画面が表示されます。

[詳細ステータス]画面

本製品の状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

①アイコン / メッセージ

本製品の状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

②イラスト / メッセージ

本製品の状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストを表示します。エラーが発生したときは、対処方法を表示します。

③[PDF で詳しく見る]ボタン

取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている環境下で、紙詰まりや消耗品の寿命など特定のエラーが発生したときに表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。

[通知設定] 画面の [取扱説明書を参照する] のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 20 ページ「監視・通知の設定」

[交換品情報]画面

交換品の寿命（残量）などが表示されます。画面右上の表示切り替えボタン [⬅] / [➡] をクリックすると、画面が切り替わります。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

②トナー

トナーカートリッジの寿命の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する色のアイコンが点滅します。

③感光体ユニット

感光体ユニットの寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

④現像ユニット

現像ユニットの寿命の目安を表示します。現像ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する色のアイコンが点滅します。

⑤二次転写ユニット
転写ユニットの寿命の目安を表示します。転写ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑥定着ユニット
定着ユニットの寿命の目安を表示します。定着ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑦メンテナンスユニット
メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑧給紙ローラ
給紙ローラの寿命の目安を表示します。給紙ローラに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する給紙装置のアイコンが点滅します。

⑨ADF メンテナンスユニット
ADF メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。ADF メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

[ジョブ情報]画面
ネットワーク環境で印刷中または本製品で処理中のジョブの状態が表示されます。
プリントサーバを介さないネットワーク接続(Rendezvous/Bonjour、Epson TCP/IP、Epson AppleTalk による接続)の場合に使用できます。

①ジョブリスト
コンピュータでスプール中または本製品で処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。
ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブでは、以下の情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

②[表示設定]ボタン
ジョブリストの表示内容を設定します。
表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。

③[情報の更新]ボタン
最新のジョブ情報を表示します。

④[印刷中止]ボタン
ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、[印刷中止] をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。
ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

監視・通知の設定

Epson ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するかなどを設定します。

設定方法は以下の通りです。

1 **Dock にある Epson ステータスモニタのアイコンをクリックします。**

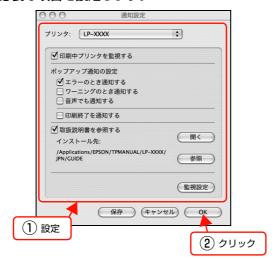
Mac OS X v10.5.x：

［プリントとファクス］の［デフォルトのプリンタ］で設定したデフォルトプリンタの Epson ステータスモニタが起動します。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

［プリンタ設定ユーティリティ］で設定したデフォルトプリンタの Epson ステータスモニタが起動します。

2 **Epson ステータスモニタの［ファイル］メニューから［通知設定］をクリックします。**

3 **必要な項目を設定します。**

設定項目の詳細は以下を参照してください。

☞ 次項「［通知設定］画面」

以上で終了です。

［通知設定］画面

①プリンタ

複数プリンタを監視しているときに、設定するプリンタを切り替えます。

②印刷中プリンタを監視する

印刷中に本製品を監視します。

③ポップアップ通知の設定

エラーやワーニング発生時に［簡易ステータス］画面で知らせるかどうかを設定します。

項目	内容
エラーのとき通知する	エラー発生時に通知します。
ワーニングのとき通知する	ワーニング発生時に通知します。
音声でも通知する	お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）ときに、エラーやワーニングを音声でも通知します。
印刷終了を通知する	印刷が終了すると以下の画面を表示して通知します。 LP-XXXX 印刷を終了しました。 ユーザー名 ： XXXXX 文書名 ： 書類 印刷総数 ： 1 枚 コンピュータ名 ： XXXXX ジョブタイプ ： 標準 通知数 ： 1 <<前の通知　閉じる ジョブ管理機能をサポートしていない環境ではグレーアウトして設定できません。

④取扱説明書を参照する

トラブル発生時に表示する取扱説明書（電子マニュアル）に関する設定をします。チェックすると、紙詰まりなどのエラーが発生したときに［詳細ステータス］画面の［ステータス］タブに［PDF で詳しく見る］ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。チェックを外すと、［PDF で詳しく見る］ボタンは表示されません。

項目	説明
［開く］	クリックすると、取扱説明書（電子マニュアル）の先頭ページを表示します。
［インストール先：］	取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている場所を表示します。
［参照］	取扱説明書（電子マニュアル）をインストールしたフォルダを選択できます。インストール先を変更したり、ネットワーク環境でサーバにインストールした取扱説明書（電子マニュアル）を参照するときなどは、該当のフォルダを選択してください。

⑤［監視設定］ボタン

［監視設定］をクリックすると、監視する間隔（ローカル接続時 6 ～ 60 秒 / ネットワーク接続時 15 ～ 60 秒）を設定できます。なお、［初期値に戻す］をクリックすると、監視間隔を初期値に戻します。

便利な印刷機能

本製品のプリンタドライバで設定できる、便利な機能をご紹介します。
Windows の設定画面を例に説明します。

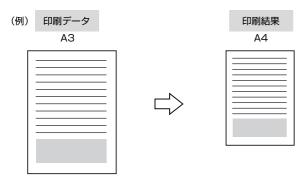
☞ 次項「拡大 / 縮小」
☞ 本書 23 ページ「複数ページを 1 ページに割り付け」
☞ 本書 25 ページ「両面印刷」
☞ 本書 26 ページ「製本印刷」
☞ 本書 30 ページ「原本とコピーの区別（透かし印刷）」
☞ 本書 33 ページ「背景に文字や画像を印刷（スタンプマーク）」
☞ 本書 38 ページ「ヘッダー / フッター印刷」
☞ 本書 39 ページ「印刷ジョブにパスワードを設定」

拡大 / 縮小

プリンタドライバの［拡大 / 縮小］機能を使用すると、アプリケーションソフトで作成したデータのサイズと異なるサイズで印刷できます。印刷したい用紙のサイズを指定するだけで、用紙の大きさに合わせて自動的に拡大 / 縮小します。また、拡大 / 縮小率を任意に設定することもできます。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

- Windows
  ☞ 本書 6 ページ「プリンタドライバの使い方」
- Mac OS X
  ☞ 本書 14 ページ「プリンタドライバの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1　プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］が［A3］になっていることを確認します。

2　［応用設定］画面で、［拡大 / 縮小］をチェックして［出力用紙］から［A4］を選択します。

- ［配置］は、縦横比の違うサイズに拡大 / 縮小する際に設定してください。A3 から A4 など、縦横比が同じ場合は、どちらを選択しても印刷結果は同じです。
- ［任意倍率］をチェックすると、任意の倍率が指定できます。チェックしなければ、用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されます。

3　［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

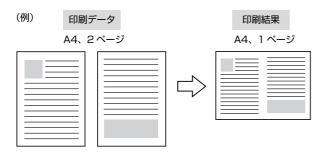
以上で終了です。

複数ページを１ページに割り付け

プリンタドライバの［割り付け印刷］機能を使用すると、２ページまたは４ページを１ページに割り付けて印刷できます。プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書6ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書14ページ「プリンタドライバの使い方」

２ページ割り付け

２ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。

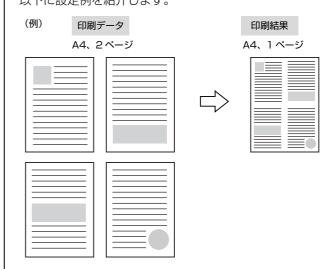
2 ［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［2ページ分］を選択します。

必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

3 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

４ページ割り付け

４ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。

2 ［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［4ページ分］を選択します。

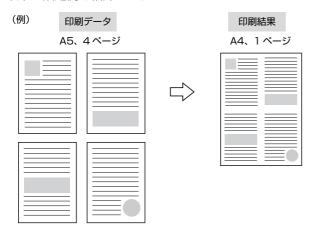
必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

3 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

出力用紙サイズを指定

［拡大 / 縮小］機能を併用すると、印刷する用紙サイズを自由に設定できます。

以下に設定例を紹介します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］から［A5］を選択します。**

ここでは、印刷データの用紙サイズを設定します。

2 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。**

3 **［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［4ページ分］を選択します。**

必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定して、［OK］をクリックします。

4 **［応用設定］画面で［拡大 / 縮小］をチェックし、［出力用紙］から［A4］を選択します。**

5 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

両面印刷

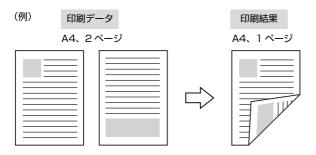
プリンタドライバの［両面印刷］機能を使用すると、用紙の両面に印刷できます。

両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

☞『取扱説明書 操作編』（冊子）「用紙一覧と設定早見表」

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書6ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書14ページ「プリンタドライバの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［とじる位置］を選択して［両面設定］をクリックします。**

2 **［両面印刷設定］画面で必要項目を設定します。**

［製本する］の詳細は、以下を参照してください。

☞ 本書 26 ページ「製本印刷」

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

製本印刷

プリンタドライバの［両面印刷］機能を使用すると、製本用にページを並べ替えた印刷ができます。両面に2ページずつ印刷されますので、二つ折りにしてとじるだけで簡単に冊子を作ることができます。

両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

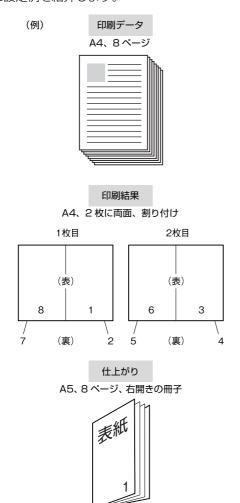
☞『取扱説明書 操作編』（冊子）「用紙一覧と設定早見表」

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書6ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書14ページ「プリンタドライバの使い方」

全ページまとめて二つ折り

ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りにできるときは、この方法で印刷します。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2ページずつ両面印刷します。

以下に設定例を紹介します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。**

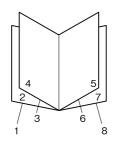
> **参考**
> ［割り付け］や［とじる位置］の設定は、2 で製本印刷の設定をすると無効になります。

2 **［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。**

「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3 **［全ページ］を選択します。**

4 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

5 印刷された用紙を重ね、1 ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

以上で終了です。

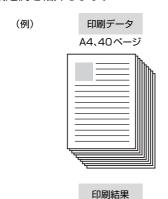
ページを分割して二つ折り

ページ数が多いときなどに、数枚ずつ分割して二つ折りにし、最後に 1 冊にまとめる方法です。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2 ページずつ両面印刷します。

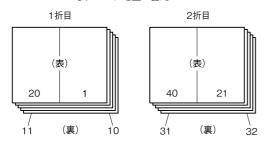
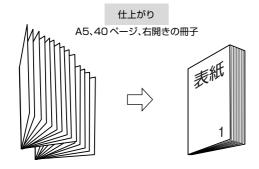
以下に設定例を紹介します。

（例）　印刷データ

A4、40ページ

印刷結果

A4、10 枚に両面、割り付け 5 枚ずつ二つ折りにするようにページを並べ替え

仕上がり

A5、40ページ、右開きの冊子

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

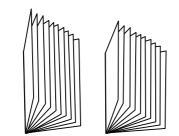
［割り付け］や［とじる位置］の設定は、2 で製本印刷の設定をすると無効になります。

2 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3 ［分割する］を選択し、［5 枚毎］に設定します。

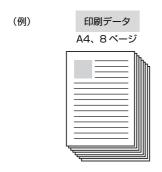
4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

5 印刷された用紙を5枚1組にして重ね、それぞれを二つ折りにしてからとじます。

二つ折りにした２組の冊子を合わせてとじる

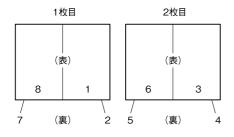
以上で終了です。

出力用紙サイズを指定

［拡大 / 縮小］機能を併用すると、印刷する用紙サイズが自由に設定できます。以下に設定例を紹介します。

（例）　印刷データ

A4、８ページ

印刷結果

A3、２枚に両面、割り付け

仕上がり

A4、８ページ、右開きの冊子

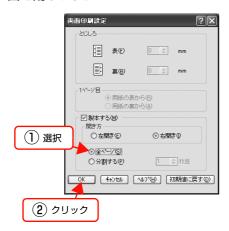
1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］から［A4］を選択します。

2 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

> **参考**
>
> ［割り付け］や［とじる位置］の設定は、**3** で製本印刷の設定をすると無効になります。

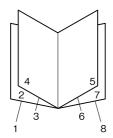
3 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

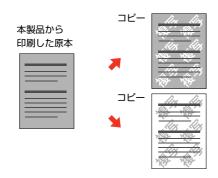
「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

4　［全ページ］を選択し、［OK］をクリックして画面を閉じます。

5　［応用設定］画面で［拡大 / 縮小］をチェックし、［出力用紙］から［A3］を選択します。

6　［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

7　印刷された用紙を重ね、1ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

以上で終了です。

原本とコピーの区別(透かし印刷)

プリンタドライバの［透かし印刷］機能を使うと、印刷文書の背景に透かし文字が印刷できます。透かし文字が印刷された原本をコピーすると、埋め込まれている文字が浮き上がったように印刷され、原本との区別がつくようになります。不正コピーの抑制などに有効です。

！重要

透かし印刷は、本製品から出力した印刷物（原本）の不正コピーを抑制する機能であり、情報漏えいの防止自体を保証することはできません。
以下のような条件によって、透かし文字が濃過ぎたり、印刷物の全面に透かし印刷されなかったり、コピーしたときに文字が浮き上がらないことがあります。

- コピー機、ファクス機、コピーに使用する入力機器（デジタルカメラやスキャナなど）と出力機器（プリンタなど）の機種や設定、組み合わせ
- 本製品のプリンタドライバの設定、消耗品（トナーなど）の状態や出力する用紙種類

透かし文字の種類は、プリンタドライバにあらかじめ登録されているもののほか、任意のテキストが登録できます。
☞ 本書 31 ページ「透かし文字の登録」

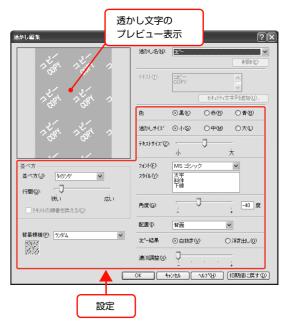
透かし印刷の設定

設定方法は以下の通りです。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。
☞ Windows：本書6ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書14ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面の［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面の［透かし印刷］で透かし文字を選択し、［編集 / 削除］をクリックします。

3 ［透かし編集］画面で透かし文字のサイズや色、配置などを設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

透かし文字の登録

任意のテキストを透かし文字として登録する方法を説明します。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書6ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書14ページ「プリンタドライバの使い方」

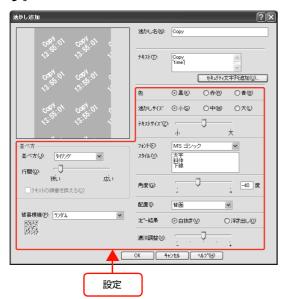
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面で［新規追加］をクリックします。**

3 **［透かし追加］画面で［透かし名］に任意の登録名を入力します。**

4 **［テキスト］に登録したい文字を入力します。**

［セキュリティ文字列追加］をクリックすると、ユーザー名やコンピュータ名、日付などが選択できます。

5 透かし文字のサイズや色、配置などを設定します。

6 [OK] をクリックして [透かし追加] 画面を閉じます。

登録した透かし文字がリストに登録されます。

以上で終了です。

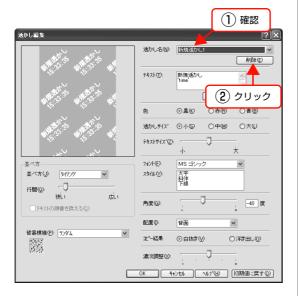
透かし文字の削除

登録した透かし文字の削除方法を説明します。

1 プリンタドライバの [基本設定] 画面で [セキュリティ印刷] をクリックします。

2 [セキュリティ印刷] 画面で [透かし印刷] から削除したい設定を選択し、[編集 / 削除] をクリックします。

3 ［透かし編集］画面で［透かし名］に削除したい設定が表示されていることを確認し、［削除］をクリックします。

登録した任意の設定のみが削除できます。

4 **確認画面で［はい］をクリックします。**
登録した設定が削除されます。

以上で終了です。

背景に文字や画像を印刷(スタンプマーク)

プリンタドライバの［スタンプマーク］機能を使うと、印刷文書の背景に「㊙」、「重要」、「㈷」などのスタンプマークを重ねて印刷できます。手作業でスタンプを押すなどの手間が省けて便利です。

スタンプマークの種類は、プリンタドライバにあらかじめ登録されているもののほか、任意のテキストまたは画像（Windows の場合は BMP、Mac OS X の場合は PNG、PDF、JPEG）が登録できます。

本書 34 ページ「テキストマークの登録」
本書 36 ページ「ビットマップマークの登録」

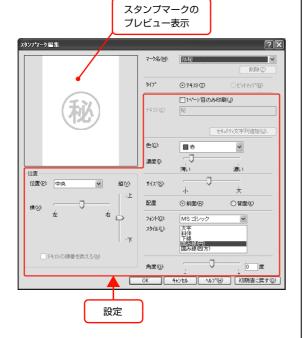
スタンプマークの設定

設定方法は以下の通りです。
プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書6ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書14ページ「プリンタドライバの使い方」

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で、［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 ［セキュリティ印刷］画面の［スタンプマーク］でスタンプマークを選択し、［編集 / 削除］をクリックします。

3 ［スタンプマーク編集］画面でスタンプマークのサイズや色、配置などを設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

テキストマークの登録

任意のテキストをスタンプマークとして登録する方法を説明します。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書6ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書14ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面で［新規追加］をクリックします。

3 ［スタンプマーク追加］画面で［マーク名］に任意の登録名を入力します。

4 ［タイプ］から［テキスト］を選択します。

5 ［テキスト］に登録したい文字を入力します。

［位置］で［全面］を選択すると、［セキュリティ文字列追加］が有効になり、ユーザー名やコンピュータ名、日付などが選択できます。

6 テキストマークのサイズや色、配置などを設定します。

7 ［OK］をクリックして［スタンプマーク追加］画面を閉じます。

登録したテキストマークがリストに登録されます。

以上で終了です。

ビットマップマークの登録

任意のビットマップ画像（BMP）をスタンプマークとして登録する方法を説明します。あらかじめ、スタンプマークとして使用したい画像 Windows の場合は BMP、Mac OS X の場合は PNG、PDF、JPEG）を用意してください。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書6ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書14ページ「プリンタドライバの使い方」

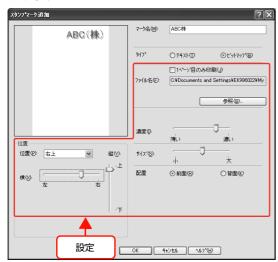
1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面で［新規追加］をクリックします。

3 ［スタンプマーク追加］画面で［マーク名］に任意の登録名を入力します。

4 ［タイプ］から［ビットマップ］を選択します。

5 登録する BMP ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

6 ビットマップマークのサイズや配置などを設定します。

7 ［OK］をクリックして［スタンプマーク追加］画面を閉じます。

登録したビットマップマークがリストに登録されます。

以上で終了です。

マークの削除

登録したスタンプマークの削除方法を説明します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面で［スタンプマーク］から削除したい設定を選択し、［編集 / 削除］をクリックします。

3 **［マーク名］に削除したい設定が表示されていることを確認して［削除］をクリックします。**

参考

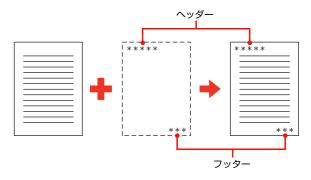
登録した任意の設定のみが削除できます。

4 **確認画面で［はい］をクリックします。**

登録した設定が削除されます。

以上で終了です。

ヘッダー/フッター印刷

プリンタドライバの［ヘッダー / フッター］機能を使うと、印刷文書にヘッダーまたはフッターとして、ユーザー名、コンピュータ名、印刷日時、ページなどが印刷できます。

設定方法は以下の通りです。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書6ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書14ページ「プリンタドライバの使い方」

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で、［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面で［ヘッダー / フッター］をチェックし、［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。**

3 ［ヘッダー / フッター］画面で印刷する項目を選択します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

印刷ジョブにパスワードを設定

パスワード印刷をするには、メモリの増設が必要です。

『取扱説明書 セットアップ編』（冊子）「オプションの取り付け」

プリンタドライバの［パスワード印刷］機能を使うと、印刷ジョブにパスワードが設定できます。印刷を実行すると印刷ジョブは一旦本製品の RAM ディスク * に保存され、操作パネルでパスワードを入力すると出力されます。不特定多数で本製品を共同使用している場合でも、他人の目に触れることなく文書を印刷することができます。

* 本製品に搭載しているメモリの一部をハードディスクのように利用してパスワード印刷ジョブを保存する仕組み。

！重要

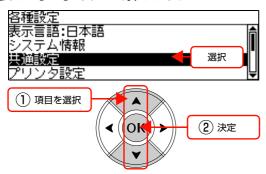
以下の状態にあるデータは保護されません。

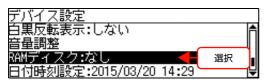
- 通信経路上にあるデータ
- 本製品の RAM ディスクに一時的に保存されているデータ

RAM ディスクの設定

パスワード印刷をするには、本製品側にパスワード印刷ジョブを保存するための RAM ディスクの設定が必要です。操作パネルおよびプリンタドライバで RAM ディスクの設定をしてください。

1 操作パネルの［各種設定］ボタンを押します。

2 ［▲］/［▼］ボタンを押して［共通設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

3 ［▲］/［▼］ボタンを押して［デバイス設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

4 ［▲］/［▼］ボタンを押して［RAM ディスク］を選択し、［OK］ボタンを押します。

5 ［▲］/［▼］ボタンを押して［標準］または［最大］を選択し、［OK］を押します。

設定値の説明は以下を参照してください。

☞『取扱説明書 操作編』（冊子）「共通設定の項目一覧」

！重要

RAM ディスクを［標準］または［最大］にすると A3 の両面印刷で高精細に設定したコピーができなくなることがあります。

6 本製品の電源を入れ直すか、操作パネルの［共通設定］－［リセット］メニューから［リセットオール］を実行します。

設定内容が有効になります。

続いてプリンタドライバを設定します。

Windows の場合

☞ 次項「Windows の場合」

Mac OS X の場合

☞ 本書 41 ページ「Mac OS X の場合」

Windows の場合

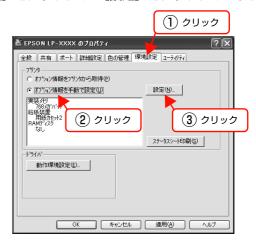
7 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008：
［（スタート）］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］の順にクリックします。

8 本製品のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

9 ［環境設定］画面で［オプション情報を手動で設定］をクリックし、［設定］をクリックします。

Epson ステータスモニタがインストールされているときはオプション情報を自動的に取得できます。
RAM ディスクが［あり］になっていることを確認して［OK］をクリックします。

10 **[RAM ディスク] をチェックして [OK] をクリックします。**

[実装メモリ] で 256 メガバイト以外を選択すると、[RAM ディスク] が有効になります。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

[プリントとファクス] (Mac OS X v10.5.x) または [プリンタ設定ユーティリティ] (Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x) を開き、本製品を追加し直すと、情報が更新されます。

以上で終了です。

パスワードの設定

プリンタドライバで、印刷ジョブにパスワードを設定する方法を説明します。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows : 本書 6 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X : 本書 14 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 **プリンタドライバの [基本設定] 画面で [セキュリティ印刷] をクリックします。**

2 **[セキュリティ印刷] 画面の [パスワード印刷をする] をチェックし、任意の [ユーザー名]、[ジョブ名]、[パスワード] を入力します。**

[ユーザー名]、[ジョブ名]、[パスワード] は、パスワード印刷のジョブ識別情報になります。必ず入力してください。

- ユーザー名 : 半角英数 14 文字 (全角 7 文字) 以内
- ジョブ名 : 半角英数 14 文字 (全角 7 文字) 以内
- パスワード : 半角英数記号 4 文字 (Mac OS X は数字のみ)
  (ASCII 文字コード 21h ～ 7Eh)

> **参考**
>
> Windows の場合、未入力で印刷すると、自動的に [ユーザー名] (Windows のログインユーザー名) と [パスワード] (1234) が設定されることがあります。ただし、
>
> - お使いの環境によっては Windows のログインユーザー名ではないユーザー名になることがあります。
> - 半角 14 文字分 (全角 7 文字分) を超えるユーザー名は切り捨てて表示されます。
> - 情報が取得できなかったときは [ユーザー名] が [Epson User] に設定されます。
>
> Mac OS X の場合、[ユーザー名]、[ジョブ名]、[パスワード] に半角の＼ (バックスラッシュ) や半角の¥マーク、半角カナは使用できません。

3 **[OK] をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

印刷を実行すると、本製品のメモリ (RAM ディスク) にデータが保存されます。印刷はされません。

印刷方法は以下を参照してください。

☞ 本書 42 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷」

以上で終了です。

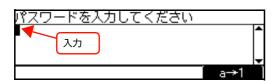
パスワード印刷ジョブの印刷

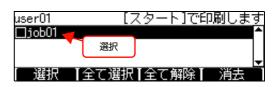
プリンタドライバでパスワードを設定した印刷ジョブを、印刷する方法を説明します。

1 **操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**

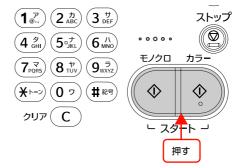
2 **［パスワード］に対応する［F2］ボタンを押します。**

3 **［▲］/［▼］ボタンを押して、ユーザー名を選択し、［OK］ボタンを押します。**

4 **パスワードを入力して、［OK］ボタンを押します。**
パスワードが一致すると次の手順に進みます。

参考
- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した［F4］キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、割り付けられたアルファベットが順番に表示されます。
- ［◀］ボタンを押すと、確定した桁に戻ることができます。
- 確定した桁は表示が［＊］に変わります。

5 **ジョブ名を選択します。**
プリンタドライバで設定したジョブ名を選択します。

① ［▲］/［▼］ボタンを押してジョブ名を選択し、［F1］ボタンで決定します。
② 印刷するジョブが複数ある場合は、①の操作を繰り返します。
③ 印刷するジョブを選択し終えたら、［OK］ボタンを押して確定します。

参考
- 選択したジョブを解除するためには、［F1］ボタンを再度押します。
- ［全て選択］に対応する［F2］ボタンを押すと、すべてのジョブを選択します。
- ［全て解除］に対応する［F3］ボタンを押すと、選択したジョブをすべて解除します。
- ［削除］に対応する［F4］ボタンを押すと、選択したジョブを削除します。

6 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して印刷を実行します。**

以上で終了です。

パスワード印刷ジョブの削除

本製品のメモリ（RAM ディスク）に保存されたパスワード印刷ジョブは、以下のときに削除されます。

- 印刷したとき（ジョブごと）
- 操作パネルで［データ消去］を実行したとき（ジョブごと）
- 印刷しないで本製品の電源を切ったとき（すべてのジョブ）
- 操作パネルで［リセットオール］を実行したとき（すべてのジョブ）

添付ソフトウェア情報

バーコードフォントの使い方

同梱の『ソフトウェア CD-ROM』には、Epson バーコードフォントが収録されています。Epson バーコードフォントは、データキャラクタ（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクタ以外のコードやマージン、OCR-B フォント（バーコード下部の文字）などの入力が不要です。

インストール方法は以下を参照してください。

本書 56 ページ「必要なソフトウェアを選択してインストール」

バーコードフォントの種類

Epson バーコードフォントの種類は以下の通りです。

各バーコードの仕様や規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

JAN(標準バージョン)

<table>
<tr><td colspan="2">フォント名</td><td>Epson JAN-13</td><td>Epson JAN-13 Short</td></tr>
<tr><td colspan="2">OCR-B</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">チェックデジット</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタ種類</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">桁数</td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能サイズ</td><td>60 ～ 96pt</td><td>36 ～ 90pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取り保証サイズ</td><td>60pt、75pt（標準）</td><td>36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動設定される情報（入力不要）</td><td colspan="2">• レフト / ライトマージン
• レフト / ライトガードバー
• チェックデジット
• OCR-B
• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="3">例</td><td>入力</td><td colspan="2">123456789012</td></tr>
<tr><td>画面表示</td><td>123456789012</td><td>123456789012</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td>1 234567 890128</td><td>1 234567 890128</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考</td><td>JIS X 0501</td><td>• JAN-13 のバーの高さを低くしたもの
• 日本国内でのみ使用可能</td></tr>
</table>

JAN(短縮バージョン)

フォント名		Epson JAN-8	Epson JAN-8 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		7	
入力可能サイズ		52 ～ 130pt	36 ～ 90pt
読み取り保証サイズ		52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt	36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	1234567	
	画面表示	1234567	1234567
	印刷	1234 5670	1234 5670
備考		−	• JAN-8 のバー高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

UPC

フォント名		Epson UPC-A	Epson UPC-E
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		11	6
入力可能サイズ		60 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		60pt、75pt（標準）	
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • ナンバーシステムの「0」
例	入力	12345678901	123456
	画面表示	12345678901	123456
	印刷	1 23456 78901 2	0 123456 5
備考		Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。	Zero Suppression タイプ（余分な 0 を削除）

Code39

フォント名		Epson Code39	Epson Code39 CD	Epson Code39 Num	Epson Code39 CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		英数字（A～Z、0～9）、記号（－　.　スペース　$　/　+　%）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26～96pt		36～96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左／　右クワイエットゾーン • スタート／　ストップキャラクタ • チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1234567	1234567
	印刷			1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7 S
備考		• JIS X 0503 • スペースを表すバーコードを入力したいときは、「＿」（アンダーライン）を入力してください。			

Code128

フォント名		Epson CODE128
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		全ての ASCII 文字（95 文字）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		26 ～ 96pt
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • コードセットの変更キャラクタ • チェックデジット
例	入力	1234567
	画面表示	1234567
	印刷	
備考		• JIS X 0504 • コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。

Interleaved 2 of 5

フォント名		Epson ITF	Epson ITF CD	Epson ITF Num	Epson ITF CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26 ～ 96pt		36 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • チェックデジット • 文字列先頭の「0」（合計文字数が偶数でない場合のみ）			
例	入力	1234567			
	画面表示	1234567	1234567	1234567	1234567
	印刷			01234567	12345670
備考		キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、Epson バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。			

NW-7

<table>
<tr><td colspan="2">フォント名</td><td>Epson NW-7</td><td>Epson NW-7 CD</td><td>Epson NW-7 Num</td><td>Epson NW-7 CD Num</td></tr>
<tr><td colspan="2">OCR-B</td><td colspan="2">なし</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">チェックデジット</td><td>なし</td><td>あり</td><td>なし</td><td>あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタ種類</td><td colspan="4">数字（0～9）、記号（−　$　:　/　.　+）</td></tr>
<tr><td colspan="2">桁数</td><td colspan="4">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能サイズ</td><td colspan="2">26～96pt</td><td colspan="2">36～96pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">読み取り保証サイズ</td><td colspan="2">26pt、52pt、78pt</td><td colspan="2">36pt、72pt</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動設定される情報（入力不要）</td><td colspan="4">• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">例</td><td>入力</td><td colspan="4">1234567</td></tr>
<tr><td>画面表示</td><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234567</td></tr>
<tr><td>印刷</td><td></td><td></td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 A</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
<tr><td colspan="2">備考</td><td colspan="4">• JIS X 0503
• スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。</td></tr>
</table>

郵便番号(カスタマバーコード)

フォント名		Epson J-Postal Code
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字(0 ~ 9)、英文字(A ~ Z)、記号(−)
桁数		制限なし
入力可能サイズ		8 ~ 11.5pt
読み取り保証サイズ		8pt、9pt、10pt、11.5pt
自動設定される情報(入力不要)		• バーコードの上下左右 2mm の空白 • 入力時の−(ハイフン)の削除 • スタート / ストップコード • 住所表示番号の 13 桁調整 • チェックデジット
例	入力	123-4567
	画面表示	1 2 3 − 4 5 6 7
	印刷	
備考		• 郵便番号(3桁)−郵便番号(4桁)−住所表示番号(バーコードに変換後 13 桁まで)を入力します。住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たないときは、13 桁になるように末尾にコードが挿入されます。 • 印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。

EAN128

フォント名		Epson EAN128
OCR-B		あり
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 〜 9)、英文字（A 〜 Z） 括弧 (　) は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートしていますが、入力は小文字で行います。
桁数		アプリケーション識別子 (AI) により桁数が異なります。 01：GTIN（グローバルトレードアイテムナンバー） 　　4桁「(01)」＋ 13 桁（数字） 17：パッチ / ロットナンパー 　　4桁「(17)」＋6桁（数字） 10：保証期限日 　　4桁「(10)」＋最大 20 桁（英数字） 30：数量 　　4桁「(30)」＋最大８桁（数字）
入力可能サイズ		36pt 以上
読み取り保証サイズ		36pt、72pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • FNC1 キャラクタ （Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため） • コードセットの変更キャラクタ • チェックデジット
例	入力	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc
	画面表示	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)ABC
	印刷	(01)14912345678901(17)990101(30)12(10)ABC
備考		コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。

標準料金代理収納

フォント名		Epson EAN128_A191
OCR-B		あり
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9)、記号（－） 括弧 (　) は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレータとして使用します。
桁数		４桁「(91)」＋ 46 桁（数字間の「-」を含む）
入力可能サイズ		48pt 以上
読み取り保証サイズ		48pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • FNC1 キャラクタ（Code128 との識別のために挿入します。） • チェックデジット
例	入力	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	画面表示	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	印刷	(91) 912345-0123456789012345678901 010331-0-123000-3
備考		コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル

データ作成時のご注意

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けはしないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転は、90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。

  例）文字間隔の自動調整
  　　行末に存在するスペース削除
  　　連続する複数個のスペースをタブなどに変換
  　　記号の変換
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなることがあります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- 一行に２つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の 15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。（Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/EAN128）
- アプリケーションソフトで、改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

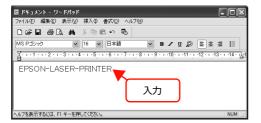
印刷時のご注意

- トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。
- Epson バーコードフォントは、本製品に同梱されているプリンタドライバでのみ印刷可能です。
- プリンタドライバで、以下の通り設定してください。

画面	項目	設定値
基本設定	割り付け	チェックなし（OFF）
応用設定	拡大 / 縮小	チェックなし（OFF）
応用設定（応用設定－詳細設定）	印刷品質	きれい（600dpi）
応用設定－詳細設定	トナーセーブ	チェックなし（OFF）

バーコード作成 / 印刷の手順

ここでは Windows XP のワードパッドを例に、Epson バーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

1 **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字をすべて半角（1Byte）で入力します。**

2 **入力した文字を選択します。**

選択した範囲が反転表示になります。

3 **［書式］ —［フォント］の順にクリックします。**

4 **［フォント］の一覧から印刷したい Epson バーコードフォントを選択し、［サイズ］を選択して［OK］をクリックします。**

推奨または使用可能なフォント（キャラクタ）サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。

☞ 本書 43 ページ「バーコードフォントの種類」

参考

アプリケーションソフトによっては、フォント名をそのフォント自体で表示することがあります。

5 **入力した文字が、図のように表示されます。**

6 **印刷を実行します。**

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

以上で終了です。

TrueType フォントの使い方

同梱の『ソフトウェア CD-ROM』には、Epson TrueType フォントと OCR-B TrueType フォントが収録されています。インストールすると、アプリケーションソフトで使用できる書体が追加され、より表現豊かな文書を作成することができます。
インストール方法は以下を参照してください。
本書 56 ページ「必要なソフトウェアを選択してインストール」

『ソフトウェア CD-ROM』に収録されているフォントは以下の通りです。

Epson TrueType フォント

フォント名	印刷例
Epson 行書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 教科書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 正楷書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 丸ゴシック体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 太角ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 太明朝体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 太行書体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 太丸ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント

OCR-B TrueType フォント

フォント名	印刷例
OCR-B	1234567890

『ソフトウェア CD-ROM』に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B の規格外の文字も含まれています。
読み取り用に使用するときは、事前に読み取り機で読み取れることを確認してください。トナー状況や用紙の種類によって読み取れないことがあります。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。

必要なソフトウェアを選択してインストール

セットアップ時にインストールされないソフトウェアをインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除し、コンピュータを再起動してからインストールしてください。

本書 58 ページ「ソフトウェアの削除」

Windows

1 **Windowsを起動して『ソフトウェアCD-ROM』をセットします。**

Windows Vista/Windows Server 2008:

① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO Epson であることを確認してからクリックします。

② ［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは、［続行］をクリックします。

上記 OS 以外:

2 に進みます。

2 **モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。**

3 **［カスタムインストール］をクリックします。**

4 **インストールするソフトウェアの ▶ をクリックします。**

5 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

Mac OS X

1 **Mac OS Xを起動して『ソフトウェアCD-ROM』をセットし、デスクトップの［Epson］のアイコンをダブルクリックします。**

2 **［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。**

3 ［カスタムインストール］をクリックします。

4 インストールするソフトウェアの をダブルクリックします。

5 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

ソフトウェアの削除

インストールしたソフトウェアを削除する方法を説明します。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

!重要 管理者権限のあるユーザーでログオンし、ソフトウェアを削除してください。

Windows

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］（または［ ］）－［コントロールパネル］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 ［プログラムのアンインストール］/［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008：
［プログラムのアンインストール］をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 2000：
［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

4 削除するソフトウェアを選択してから［アンインストールと変更］/［変更と削除］をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008：
削除するソフトウェアを選択してから［アンインストールと変更］をクリックします。

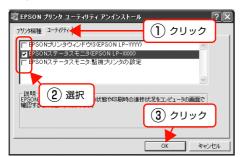
Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの変更と削除］をクリックしてから削除するソフトウェアを選択し［変更と削除］をクリックします。

<例> Windows XP の場合

- ［Epson プリンタドライバ・ユーティリティ］を選択すると、プリンタドライバと Epson ステータスモニタを削除します。5 に進んでください。
- そのほかのソフトウェアを削除する場合は 7 に進んでください。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、本製品のアイコンを選択します。

ここで選択した機種のプリンタドライバが削除されます。プリンタドライバを削除したくないときは、何も選択していない状態にしてください。

6 ［アプリケーション一覧］または［ユーティリティ］タブをクリックし、削除するソフトウェアを選択して［OK］をクリックします。

7 画面の指示に従って作業を進めます。

8 終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

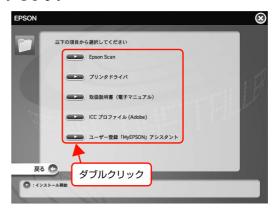
以上で終了です。

Mac OS X

1 起動しているアプリケーションソフトを終了します。

2 Mac OS Xを起動して『ソフトウェアCD-ROM』をセットし、デスクトップの［Epson］のアイコンをダブルクリックします。

3 ［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。

4 ［カスタムインストール］をクリックします。

5 削除するソフトウェアの をダブルクリックします。

6 画面の指示に従って進みます。

7 以下の画面が表示されたら、メニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

8 画面の指示に従ってアンインストール作業を進めます。

最後に［終了］をクリックしてアンインストールを終了します。

プリンタドライバ以外の場合はこれで終了です。

プリンタドライバの場合は 9 へ進んでください。

9 **ハードディスクアイコンをダブルクリックします。**

10 **［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントとファクス］を開きます。**

Mac OS X v10.5.x：

［アプリケーション］－［システム環境設定］から［プリントとファクス］を開きます。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

11 **本製品名を選択して、削除します。**

Mac OS X v10.5.x

本製品を選択して、［－］をクリックします。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x

本製品を選択して、［削除］をクリックします。

［削除］をクリックしたら、画面を閉じます。

以上で終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

『ソフトウェア CD-ROM』に収録されているプリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップすることがあります。必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください。

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

< http://www.epson.jp/ >

CD-ROM での郵送をご希望の場合は、エプソンディスクサービスが実費にて承ります。

☞『取扱説明書 セットアップ編』（冊子）裏表紙

バージョンアップの手順

ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除
☞ 本書 58 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手
（ダウンロードまたは郵送）

↓

ファイルを解凍してインストール

2 スキャン編

スキャナドライバについて

スキャナドライバ「Epson Scan」とは？

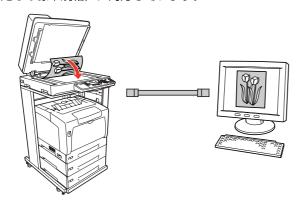
スキャナを使うためには、スキャナドライバ「Epson Scan」というソフトウェアをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。

Epson Scan の主な働きは以下の通りです。

☞ 次項「スキャンデータの送信」
☞ 本書 62 ページ「スキャン条件の設定」
☞ 本書 62 ページ「便利な機能がたくさん」

スキャンデータの送信

Epson Scan は、スキャナから受け取った画像データをコンピュータに送ります。Epson Scan がインストールされていないと、スキャンできません。Epson Scan は必ずインストールしてください。

Epson Scan は TWAIN 規格（スキャナを制御するソフトウェアからアプリケーションソフトに画像を受け渡すための標準規格）に対応しています。

スキャン条件の設定

Epson Scan の設定画面では、スキャンサイズやスキャン品質などの詳しいスキャン条件が設定できます。

オフィスモード

プロフェッショナルモード

ホームモード

便利な機能がたくさん

Epson Scan には「色あせた写真の色を復元する機能」、「書類の文字をくっきりさせる機能」、「明るさやコントラストを調整する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。

いろいろな改良が加えられた最新の Epson Scan を使用することで、より快適にスキャンできるようになることもあります。

☞ 本書 99 ページ「ソフトウェアのバージョンアップ」

Epson Scan の主な機能

Epson Scan には以下のような機能があります。

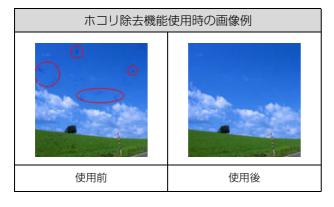
また、いろいろな改良が加えられた最新の Epson Scan を使用することで、より快適にスキャンできるようになることもあります。

☞ 本書 99 ページ「ソフトウェアのバージョンアップ」

ゴミを取り除く機能

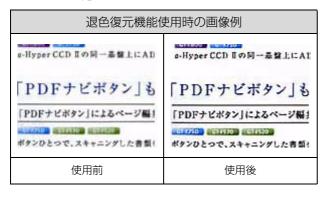
画像上のホコリを取り除いて画像をスキャンします。

☞ 本書 74 ページ「ゴミを取り除く（ホコリ除去）」

ホコリ除去機能使用時の画像例	
使用前	使用後

書類の文字をくっきりさせる機能

ぼやけている書類の文字の輪郭部分を強調することによって、文字をくっきりシャープにできます。

☞ 本書 76 ページ「書類の文字をくっきりさせる（文字くっきり）」

退色復元機能使用時の画像例	
使用前	使用後

色あせた写真の色を復元する機能

色あせてしまったり、変色した古い写真などの色合いを、取り戻すことができます。

☞ 本書 78 ページ「色あせた写真の色を復元する（退色復元）」

退色復元機能使用時の画像例	
使用前	使用後

明るさやコントラストを調整する機能

明るさとコントラスト（明暗の差）を調整することによって、スキャンした写真（画像）がよりきれいになります。明るさは、スキャンする画像が明るすぎたり暗すぎたときに調整します。

コントラストは、明暗をはっきりさせたり、逆に明暗の差を少なくするときに調整します。

☞ 本書 87 ページ「明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）」

明るさを調整した画像例	
使用前	使用後

コントラストを調整した画像例	
使用前	使用後

起動方法

Epson Scan は、単体で起動させることやアプリケーションソフト上から起動させることができます。

Epson Scan を起動

アプリケーションソフトを起動せずに、Epson Scan だけを起動して画像をスキャンできます。

起動方法

デスクトップ上の［Epson Scan］アイコンをダブルクリックします。

参考

［Epson Scan］アイコンがないときは、［スタート］（または［ ］）－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［Epson］－［Epson Scan］－［Epson Scan］の順にクリックしてください。

Mac OS X の場合

ハードディスク－［アプリケーション］フォルダー［Epson Scan］アイコンの順にダブルクリックします。

アプリケーションソフト上で Epson Scan を起動

ここでは、市販の TWAIN 対応アプリケーションソフト「Adobe Photoshop Elements」を使って、Epson Scan を起動する方法を説明します。

1 Adobe Photoshop Elements を起動します。

2 ［ファイル］－［読み込み］－［お使いのスキャナ名］の順にクリックします。

［WIA- お使いのスキャナ名］（スキャナ名に WIA が付いているもの）がある場合は選択しないでください。

Epson Scan が起動します。モードの特徴や切替方法は、以下のページをご覧ください。

本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」
本書 65 ページ「スキャンモードの種類」

参考

- 市販の Adobe Photoshop Elements の詳しい使い方は、Adobe Photoshop Elements のヘルプをご覧ください。
- Adobe Photoshop や Paint Shop Pro など、一般の TWAIN 対応アプリケーションソフトからも Epson Scan を起動できます。一般的には、［ファイル］メニューの［読み込み］や［インポート］でスキャナ名を選択するか、［TWAIN 対応機器の選択］でスキャナ名を選択後、［TWAIN 対応機器からの入力］を選択してください。

スキャンモードの切替方法と種類

スキャンモードの切り替え

画面右上の［モード］で使用したいスキャンモードに切り替えます。

スキャンモードの種類

各モードの特徴は以下の通りです。

オフィスモード

オフィスモードは、文書ファイリングなど、原稿を速く大量にスキャンしたいときにお勧めのモードです。定形サイズの用紙をプレビューせずにスキャンできるため、ADFからのスキャンには本モードでのご使用を特にお勧めします。

ホームモード

シンプルな操作画面で、原稿の種類や出力サイズなど基本的な設定をしてスキャンするモードです。

ホームモードでスキャンするには、原稿を原稿台にセットしてください。

プロフェッショナルモード

高度な画質調整できます。出版用途での利用や、他のモードより詳細な設定をしてスキャンしたいときにお使いください。

スキャン手順

ADF または原稿台に原稿をセットしたときのスキャン手順を「オフィスモード」を例に説明します。

基本手順

1 ADF または原稿台に原稿をセットします。

写真などの原稿は、原稿台にセットしてください。

☞『取扱説明書 操作編』（冊子）「原稿のセット」

2 Epson Scan を起動して、[オフィスモード] に切り替えます。

オフィスモードは、複数枚の原稿を効率よくスキャンするのに便利なモードです。

写真などの原稿をスキャンするときは、[ホームモード]、[プロフェッショナルモード] を使用してください。

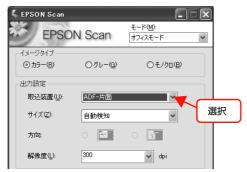
☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

> **参考**
> ADF からスキャンするときは、Epson Scan を単独起動してください。単独起動させると、スキャンした画像を自動的に保存できます。

3 [取込装置] を設定します。

ADF の場合は [ADF 片面]、原稿台の場合は [原稿台] を選択します。

各項目の詳細は Epson Scan のヘルプをご覧ください。ヘルプの起動方法は以下のページをご覧ください。

☞ 本書 71 ページ「Epson Scan の各項目の説明」

> **参考**
> [取込装置] で [自動検知] を選択した場合で ADF に原稿がセットされているときは、ADF の原稿をスキャンします。ADF に原稿がないときは、原稿台の原稿をスキャンします。

4 [サイズ]、[方向]、[解像度]、[画質調整] などを原稿や目的に合わせて設定します。

5 [プレビュー] をクリックします。

原稿全面をスキャンするときは、プレビューせずにスキャンできます。手順 6 に進みます。

スキャンする範囲を指定するときは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 70 ページ「取り込み枠の作り方」

6 [スキャン] をクリックして、スキャンを実行します。

> **！重要**
> - ADF動作中は、ADF本体やADFのカバーは開けないでください。ADF本体を開けたりADFのカバーを開けたりすると、エラーとなりスキャンできません。
> - 原稿を継ぎ足してセットしないでください。継ぎ足してセットすると紙詰まりの原因になります。

> **参考**
> 複数の原稿をスキャンするには PDF 形式をお勧めします。PDF 形式は Windows と Mac OS X で、画面表示/印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。また、圧縮率レベルの設定もできます。

以上で終了です。

原稿の一部分を連続してスキャンする

例えば、伝票の一部分だけを連続してスキャンしたいときなどは、以下の手順に従ってください。

1 **ADF に原稿をセットします。**

☞『取扱説明書 操作編』（冊子）「原稿のセット」

2 **Epson Scan を起動して、[オフィスモード] に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

> **参考**
> ADF からスキャンするときは、Epson Scan を単独起動してください。単独起動することによって、スキャンした画像を自動的に保存できます。

3 **出力設定の [取込装置]、[サイズ]、[方向]、[解像度] を原稿や目的に合わせて設定します。**

[取込装置] は、ADF の場合は [ADF 片面] または [ADF 両面] を選択します。
各項目の詳細は Epson Scan のヘルプをご覧ください。ヘルプの起動方法は以下のページをご覧ください。

☞ 本書 71 ページ「Epson Scan の各項目の説明」

4 **[プレビュー] をクリックします。**

1 番上の原稿が給紙されて画像の仮スキャン（プレビュー）され、プレビューが終了すると排紙されます。

5 **プレビュー画面上で、スキャンする範囲を指定します。**

> **参考**
> ADF 使用時は、取り込み枠は 1 つしか設定できません。

6 **排紙された原稿を順番通りまとめ直し、原稿をセットし直します。**

プレビュー時と同じ向きでセットしてください。

7 **[スキャン] をクリックして、スキャンを実行します。**

> **! 重要**
> ADF 動作中は、ADF 本体や ADF のカバーは開けないでください。ADF 本体を開けたり ADF のカバーを開けたりすると、エラーとなりスキャンできません。

>
> 複数の原稿をスキャンするには PDF 形式をお勧めします。PDF 形式は Windows と Mac OS で、画面表示/印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。また、圧縮率レベルの設定もできます。

以上で終了です。

プロフェッショナルモードの設定を保存

プロフェッショナルモードでは、取り込み枠や出力設定、画質調整などの設定が保存できます。
例えば、次のような使い方ができます。

取り込み枠の再利用	取り込み枠の位置をすべて保存できるので、写真や名刺などをスキャンするときに、常に同じ位置 / 同じ向きにセットすれば、取り込み枠を毎回作成する必要がありません。
出力サイズの再利用	壁紙またはデスクトップピクチャ用、A4印刷用などの設定を保存しておけば、出力サイズを毎回設定する必要がありません（取り込み枠を微調整するだけです）。

設定を保存する

1 Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード] に切り替えます。

本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 [原稿種]、[イメージタイプ]、[出力サイズ] を設定します。

3 原稿をプレビューし、取り込み枠の設定や画質調整など目的に合わせて設定します。

4 [保存] をクリックします。

自動的に名称が付けられ、イメージタイプ、解像度、取り込み枠、画質調整などすべての設定が保存されます。

参考

- 設定は 30 件まで保存できます。
- 設定を削除したいときは、削除したい設定保存名をリストから選択して、[削除] をクリックします。

以上で終了です。

保存した設定を利用してスキャンする

保存したスキャン設定を利用して画像をスキャンします。

1 Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード] に切り替えます。

本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 保存した設定名称を選択します。

Epson Scan の各種設定が、保存されている設定に変わります。

3 [スキャン] をクリックして、スキャンを実行します。

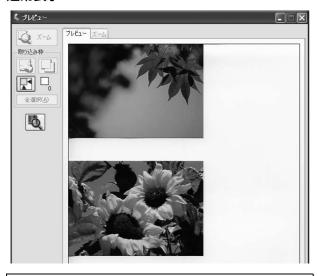
以上で終了です。

プレビュー表示

プレビューは、画像を低解像度でスキャンし、取り込み枠の設定や各種の画質調整の結果を表示する機能です。画像がどのようにスキャンされるかを、リアルタイムで確認できます。また、プレビュー後にプレビュー画面でスキャンする範囲を指定すれば、雑誌のページから写真の部分だけスキャンできます。

プレビュー表示方法は 2 種類あります。

サムネイル表示

通常表示

参考

- サムネイル表示と通常表示は、Epson Scan の［プレビュー］の下にある［サムネイル表示］をチェックする、またはチェックを外すことで切り替えられます。
- 作成できる取り込み枠の数は、通常表示の場合は 50 個まで、サムネイル表示の場合は１コマに対して１個のみです。
- プレビュー画面のサイズや向きは以下の手順で変更できます。
  Epson Scanの［環境設定］をクリックして、［プレビュー］タブをクリックし、［プレビューウィンドウサイズ］と［プレビュー画像の横長表示］の設定を変更してください。
- プレビューの自動露出については、［環境設定］画面の［カラー］画面で［常に自動露出を実行］がチェックされているときにプレビューすると、露出（明暗）が自動調整されます。

サムネイルプレビュー

［サムネイル表示］をチェックしてプレビューすると、原稿を自動認識してそれぞれをコマとして切り出してプレビューします。複数枚の写真をセットしたとき、1 つの原稿の中に複数の画像があるときに便利です。また、雑誌 / 写真の傾きを自動的に補正し、写真の上下左右の向きを判別して、自動的に正しい向きに回転してスキャンします。

サムネイルプレビューは通常プレビューに比べて時間がかかります。

以下の原稿種の選択時に、サムネイルプレビューができます。

ホームモード使用時：
［原稿種］で［プリント写真］を選択した場合。

プロフェッショナルモード使用時：
［原稿種］で［反射原稿］を選択し、［取込装置］で［原稿台］を選択した場合。

スキャンしたいコマにチェックの付いた画像がスキャンされます。

プレビュー時は、すべてのコマにチェックが付いていますので、スキャンする必要のない画像はチェックを外してください。

参考

- サムネイルプレビュー時は、原稿や条件によって、最適なスキャン結果が得られないことがあります。思った通りの結果でスキャンされないときは、［サムネイル表示］のチェックを外してスキャンしてください。
- 写真をサムネイルプレビューしたときに、意図しない向きで表示された場合は、以下のページをご覧いただくか、プレビュー画面のボタンをクリックして正しい向きに直してください。
  ☞『取扱説明書 操作編』（冊子）「スキャンのトラブル」−「Epson Scan でプレビューがうまくできない」

通常プレビュー

[サムネイル表示]のチェックを外してプレビューすると、スキャンできる領域全体をプレビューします。プレビュー後、スキャンする範囲を複数指定して、まとめてスキャンできます。

取り込み枠の作り方

プレビュー画面でマウスをドラッグ(マウスボタンを押したままマウスを移動)して取り込み枠を作成し、スキャンする範囲を指定します。

カーソルの形状	説明
＋	カーソルが左図の形状のときは、取り込み枠を作成できます。 ドラッグして、取り込み枠を作成します。
(手の形)	取り込み枠の中にカーソルを移動すると、カーソルが左図の形状に変わります。ドラッグして、取り込み枠を移動します。
(矢印の形)	取り込み枠の線上にカーソルを移動するとカーソルが左図の形状に変わります。 ドラッグして、取り込み枠を拡大 / 縮小します。 ただし、[出力サイズ] で [等倍] 以外を選択した場合は、取り込み枠を拡大 / 縮小しても縦横比は維持されます。

プレビュー画面のボタン

ボタン	説明
ズーム	原稿を再プレビューし、選択している（破線表示の）取り込み枠をズーム表示します。スキャンする領域が小さいときにお使いください。 ズーム表示すると、取り込み枠内の露出（画像の明暗）が自動調整されます。 ※ ADF からのスキャン時は拡大表示することはできません。
	選択している（破線表示の）取り込み枠を消去します。
	選択している（破線表示の）取り込み枠をコピーします。50 個までコピーできます。
	原稿の全領域を自動選択します。 ADF の裏側が汚れていると、汚れている部分が領域に含まれる可能性がありますのでご注意ください。 原稿に複数の画像があるときは、スキャンしたい画像より少し大きめの範囲をマウスでドラッグして選択してから、をクリックします。そうすることにより目的の領域をより簡単に選択できます。
1	作成した取り込み枠の総数が表示されます。
[全選択]	作成したすべての取り込み枠を選択します。選択した取り込み枠は破線表示されます。 すべての取り込み枠内の画像に対して同じ調整をするときに便利です。
	[デンシトメータ] 画面を表示します。プレビュー画像上の画素情報（RGB 値や輝度値）を確認できます。

参考

[取込装置] で [ADF- 片面] 選択時は取り込み枠を 1 つ作成できます。[ADF- 両面] 選択時は取り込み枠を作成できないため、以外は使用できません。

Epson Scan の各項目の説明

Epson Scan の各画面、各項目の説明は、Epson Scan のヘルプをご覧ください。

Epson Scan のヘルプは、画面上の［ヘルプ］をクリックすると表示されます。

スキャン機能の活用

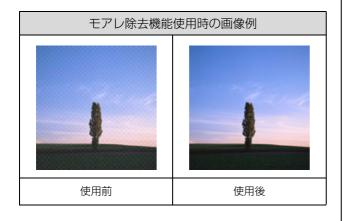
モアレ(網目状の陰影)を取り除く(モアレ除去)

印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生するモアレパターンの発生を防止できます。

モアレとは、網目状に発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。

以下の場合は、モアレ除去機能を使用できません。

- 解像度を 600dpi より高く設定した場合
- ［イメージタイプ］で［モノクロ］を選択した場合

画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、スキャンした画像をディスプレイ上で 100%（1:1）で表示してから確認してください。縮小表示では、画像が荒くモアレが発生しているように見えます。

モアレ除去機能使用時の画像例	
使用前	使用後

オフィスモードで簡単設定

1 **Epson Scan を起動して、［オフィスモード］に切り替えます。**

本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

3 **［モアレ除去］をチェックします。**

この設定は、プレビュー画像には適用されません。スキャン後の画像に適用されます。

4 **その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

モアレ除去機能を使用するとスキャンに少し時間がかかります。

以上で終了です。

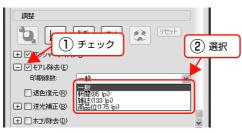
プロフェッショナルモードで詳細設定

1 **Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード]に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 **[モアレ除去] をチェックして、[印刷線数] を選択します。**

複数の画像をスキャンするときは、プレビュー画面で取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。また、[全選択] をクリックすると、まとめて設定できます。
この設定は、プレビュー画像には適用されません。スキャン後の画像に適用されます。
モアレ除去の横にある「+」(Windows) /「▶」(Mac OS X) をクリックし、原稿に適した印刷線数を選択してください。また、一致する線数の選択肢がないときは、近い値を試してください。

設定	内容
一般	解像度設定に応じた適切な品質が得られます。 原稿が 85、133、175lpi 以外の線数でスクリーン処理されているときに選択します。
新聞 (85lpi)	85lpi 前後でスクリーン処理される、新聞などに適した設定です。
雑誌 (133lpi)	133lpi 前後の線数でスクリーン処理される、週刊誌やカタログなどの雑誌類に適した設定です。
高品位 (175lpi)	175lpi 前後でスクリーン処理される、写真集などの高品質な印刷物に適した設定です。

参考

[モアレ除去] の設定項目が見つからないときは、下にスクロールしてみてください。[モアレ除去] の設定項目は Epson Scan の画面の下の方にあります。

4 **その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

モアレ除去機能を使用するとスキャンに少し時間がかかります。

参考

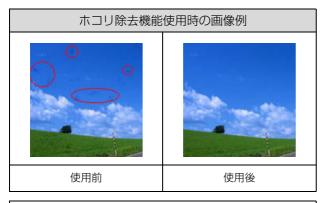
- モアレ除去機能を使用すると、スキャンした画像がややぼやけることがあります。この場合はアンシャープマスクをチェックしてください。
  ☞ 本書75ページ「ぼやけた画像をくっきりさせる(アンシャープマスク)」
- 線数とモアレの関係：
  画像の印刷時、画像にコンタクトスクリーンフィルム(に配列されている微細な網点)を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。
  網点が約 25.4mm(1 インチ)の幅に何列あるかを線数といい、単位は lpi (line per inch) で表します。精細に印刷するには、線数が高いスクリーンフィルムを使用する必要がありますので、印刷物の品質が高いほど、線数も多くなります。
  上記の変換によって、印刷物は規則的な配列のドット(点)の集まりで構成されます。こういった印刷物などをスキャンしたときに、デジタル化で発生したドットのパターンが印刷物を構成するドットの位置に重なることによって、新たなドットのパターンが生じることがあります。これがスキャンで発生するモアレです。
  [印刷線数] で線数を選択すると、ドットの重複によるモアレの発生をより緩和できます。

以上で終了です。

ゴミを取り除く（ホコリ除去）

画像上のホコリを取り除いて画像をスキャンします。

ホコリ除去機能は、Epson Scan のホームモード、プロフェッショナルモードで使用できます。

ここでは、プロフェッショナルモードでの手順を例に説明します。

原稿上の大きなホコリは、セットする前にブロアーなどで取り除いておいてください。

1 **Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード] に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 **[ホコリ除去] をチェックします。**

複数の画像をスキャンするときは、プレビュー画面で取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。また、[全選択] をクリックすると、まとめて設定できます。

この設定は、プレビュー画像には適用されません。スキャン後の画像に適用されます。

ホコリ除去の横にある「+」(Windows) /「 ▶ 」(Mac OS X) をクリックすると、ホコリ除去の効果を、弱 / 中 / 強から選択できます。

参考

[ホコリ除去] の設定項目が見つからないときは、下にスクロールしてみてください。[ホコリ除去] の設定項目は Epson Scan の画面の下の方にあります。

4 **その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

参考

- ホコリ除去機能を使用すると、解像度によってはスキャンに時間がかかります。
- スキャンされた画像に写り込むホコリとほぼ同じ大きさの点や線の画像は、点や線もホコリと認識されて消えてしまうことがあります。
- ホコリの付き具合によっては、思い通りにホコリ除去が機能しないことがあります。このようなときは、原稿または原稿台のガラス面の異物を取り除いてから再度スキャンしてみてください。
- 非常に小さなホコリは除去されないことがあります。
- ホコリ程度の大きさの画像が並んでいる場合、ぼかしがかかったようになることがあります。
- この機能を使用するには、メモリの空き容量が十分であることを確認してください。必要なメモリの空き容量がない場合、スキャンができないことがあります。

以上で終了です。

ぼやけた画像をくっきりさせる(アンシャープマスク)

ぼやけている画像を、アンシャープマスクの度合いを調整し輪郭部分を強調することによって、くっきりシャープにします。

アンシャープマスク調整機能は、Epson Scan のオフィスモード、プロフェッショナルモードでのみ使用できます。

ホームモードでは［イメージタイプ］で［カラー］または［グレー］を選択すると自動的に適用されます。

アンシャープマスク機能使用時の画像例	
使用前	使用後

［イメージタイプ］で［カラースムージング］または［モノクロ］を選択したときは使用できません。

1 Epson Scanを起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

3 ［アンシャープマスク］をチェックします。

複数の画像をスキャンするときは、プレビュー画面で取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。［全選択］をクリックするとまとめて設定できます。

［アンシャープマスク］の横にある「+」（Windows）/「▶」（Mac OS X）をクリックすると、アンシャープマスクの効果を、弱 / 中 / 強から選択できます。

4 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上で終了です。

書類の文字をくっきりさせる(文字くっきり)

ぼやけている書類の文字の輪郭部分を強調することによって、文字をくっきりシャープにできます。

文字くっきり機能は、Epson Scan のオフィスモードでのみ使用できます。

アンシャープマスク機能使用時の画像例	
使用前	使用後

[イメージタイプ] で [モノクロ] を選択したときは使用できません。

1 **Epson Scan を起動して、[オフィスモード] に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

この設定は、プレビュー画像には適用されません。スキャン後の画像に適用されます。

3 **[文字くっきり] をチェックします。**

4 **その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

以上で終了です。

暗号化したPDFでスキャンする(暗号化PDF)

書類などの原稿をセキュリティの付いたPDF形式に保存できます。

参考

- PDF形式はWindowsとMac OS Xで、画面表示/印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。
  PDF形式のファイルを開くためには、Adobe Readerが必要です。Adobe 社のホームページからダウンロードしてください。
- パスワード機能を使用したPDFを開くには、PDF機能に対応したアプリケーションが必要です。

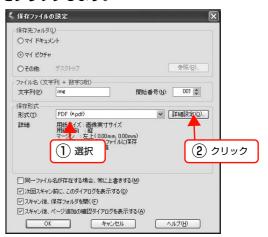
1 Epson Scanを起動して、[オフィスモード]に切り替えます。

2 プレビューする原稿(1枚)をADFにセットし、各項目を設定して、[プレビュー]をクリックします。

原稿（1枚）が給紙されてプレビューが終了すると排紙されます。

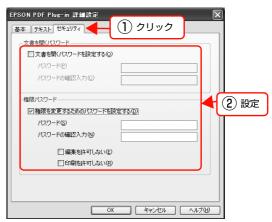
3 スキャンする原稿をすべてADFにセットし、[スキャン]をクリックします。

1枚目の原稿はプレビューのみでスキャンされません。1枚目からスキャンするには、排紙された1枚目の原稿を再度ADFにセットしてください。

4 [保存形式]で[PDF]を選択し、[詳細設定]をクリックします。

5 PDFファイルで保存するときの設定をします。

参考

[用紙サイズ]で[画像実寸サイズ]を選択すると、[圧縮レベル]しか選択できません。

6 [セキュリティ]タブをクリックし、PDFのセキュリティ設定をします。

7 [OK]をクリックします。

以上で終了です。

色あせた写真の色を復元する(退色復元)

昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真の色合いを、元の色に近づけることができます。

退色復元機能は、写真にのみ対応しており、ホームモードとプロフェッショナルモードで使用できます。

ここではホームモードでの手順を例に説明します。

退色復元機能使用時の画像例	
使用前	使用後

参考

スキャンする原稿の絵柄によっては、この機能が適切に機能しないことがあります。

1 **Epson Scan を起動して、[ホームモード] に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 **[退色復元] をチェックします。**

チェックすると、プレビュー画像上で退色復元の効果が確認できます。プレビュー画面に表示されているすべての取り込み枠に適用されます。

参考

思い通りに補正されなかったときは、カラーパレットを使って、思い通りの色に補正できます。

☞ 本書 82 ページ「好みの色に置き換える(カラーパレット調整)」

4 **その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

以上で終了です。

色を鮮やかにする(彩度調整)

彩度を調整することで、色味を鮮やかにできます。彩度調整機能は、Epson Scan のプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

彩度を調整した画像例	
使用前	使用後

1 **Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード] に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 **[イメージ調整] をクリックします。**

[イメージ調整] 画面が表示されます。

4 **彩度のスライダーを左右に動かして、色の鮮やかさを調整します。**

参考

設定を -（マイナス）にすると色味がなくなって（無彩色化され）グレーに近くなり、白黒写真風のカラー画像としてスキャンできます。

調整前（0）　調整後（– 80）

5 **[イメージ調整] 画面の [閉じる] をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認してスキャンを実行します。**

以上で終了です。

色合いを変える(カラーバランス調整)

天候や撮影場所の照明によって、写真が全体的に赤みや青みを帯びているときに、カラーバランスを補正して、適切な色合いにすることができます。カラーバランス調整機能は、Epson Scan のプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

カラーバランスを調整した画像例	
使用前	使用後

1 **Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード] に切り替えます。**

本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 **[イメージ調整] をクリックします。**
[イメージ調整] 画面が表示されます。

4 **スライダーを左右に動かして、色合いを調整します。**

シアンーーーー赤
スライダを左に動かすとシアンが強く(赤が弱く)なり、右に動かすとシアンが弱く(赤が強く)なります。

設定(−)　設定(+)

マゼンターーーー緑
スライダを左に動かすとマゼンタが強く(緑が弱く)なり、右に動かすとマゼンタが弱く(緑が強く)なります。

設定(−)

設定(+)

イエローーーーーー青
スライダを左に動かすとイエローが強く(青が弱く)なり、右に動かすとイエローが弱く(青が強く)なります。

設定(−)

設定(+)

5 **[イメージ調整] 画面の [閉じる] をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認してスキャンを実行します。**

以上で終了です。

色かぶりを取り除く（グレーバランス調整）

画像に照明などの色がかぶっているときに、グレーバランスを調整して色かぶりを取り除くことができます。グレーバランスは、本来白黒またはグレー（無彩色）となる部分を指定して、その部分を白黒またはグレーとし、画像全体の色を微調整する機能です。グレーバランス調整機能は、Epson Scan のプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

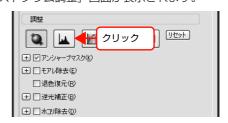
グレーバランス調整機能使用時の画像例	
使用前	使用後

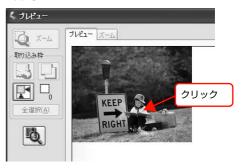
1 **Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード] に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 **[ヒストグラム調整] をクリックします。**

[ヒストグラム調整] 画面が表示されます。

4 **グレーバランス調整の [スポイト] をクリックします。**

5 **画像の中で、白黒またはグレー（無彩色）になるべき部分をクリックします。**

［スポイト］による操作をやめたいときは、キーボード上の［Esc］（Windows）/［esc］（Mac OS X）キーを押してください。

6 **色が変わりすぎてしまったときは、スライドバーで微調整します。**

グレーバランス調整の範囲は 0 ～ 100 です。
数値を上げるほど、色かぶりを取り除く効果が高くなります。100 に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。
0 に設定すると、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているため、再度調整することもできます。

7 **[ヒストグラム調整] 画面の [閉じる] をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認してスキャンを実行します。**

以上で終了です。

好みの色に置き換える(カラーパレット調整)

ハイライトやシャドウ部をあまり変化させずに肌色などの中間調部分の色合いを微調整できます。退色復元機能や自動露出機能、そのほかの色補正機能を使用して補正した画像の最終的な色の微調整にお使いください。カラーパレット調整機能は、Epson Scan のプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

カラーパレットで色を調整した画像例	
使用前	使用後

設定手順

カラーパレットを使用して設定する方法は、以下の 2 通りです。

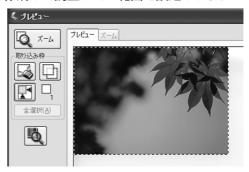
☞ 次項「カラーパレットに最適な色があるとき」
☞ 本書 84 ページ「プレビュー画像の指定した色を調整したいとき」

カラーパレットに最適な色があるとき

1 **Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード]に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー]をクリックします。**

3 **必要に応じてプレビュー画面上で、取り込み枠を作成して調整したい範囲を設定します。**

参考

- まずは自動露出機能を使って補正してから、[カラーパレット調整]画面で補正してください。
- 真っ白や黒などを選択すると適切に補正できないことがあります。真っ白や黒に近い色は選択しないでください。

4 **[カラーパレット調整]をクリックします。**

参考

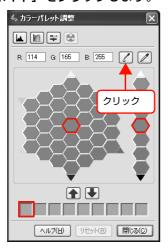
［カラーパレット調整］機能が使用できないときは、［環境設定］画面の［カラー］画面で［ドライバによる色補正］が選択されているか確認してください。

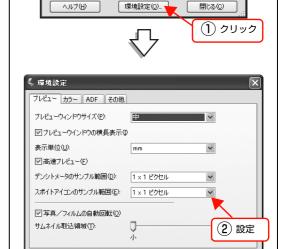
5 **カラーパレットで色を選択します。**

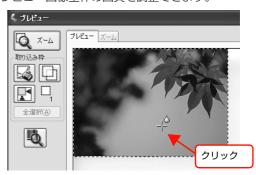
カラーパレットの中心色（赤い線で囲まれた色）を調整します。クリックした色が中心色に設定されます。R/G/B の横に数値を入力またはキーボードの↑↓キーで数値を微調整することもできます。

参考

をクリックすると、調整したカラーパレットの中心色を保存できます。をクリックすると保存した色をカラーパレットの中心色に適用できます。肌色など使用頻度が高い色を保存しておくと、類似した画像で色味を比較できます。また、同じような画像を補正するときに同じ色で補正できて便利です。

6 **［適用スポイト］をクリックします。**

参考

- スポイトボタンによる調整を中止したいときは、キーボードの［Esc］キーを押してください。
- スポイトボタンのサンプル範囲（測定範囲）は、［環境設定］画面の［プレビュー］画面で［スポイトアイコンのサンプル範囲］で設定できます。

7 **カーソルがに変わったらプレビュー画像の変更したい位置をクリックすると、カラーパレットで選択した色に合わせてプレビュー画像が補正されます。**

は指定した位置を表します。
置き換えられた色をカラーパレットの中心色としてプレビュー画像全体の画質を調整できます。

以上で終了です。

プレビュー画像の指定した色を調整したいとき

1 **Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード] に切り替えます。**

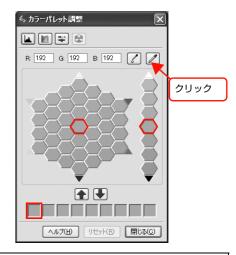
☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 **[カラーパレット調整] をクリックします。**

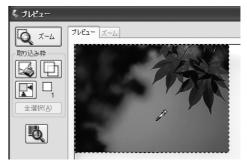
[カラーパレット調整] 画面が表示されます。

> **参考**
>
> [カラーパレット調整] 機能が使用できないときは、[環境設定] 画面の [カラー] 画面で [ドライバによる色補正] が選択されているか確認してください。

4 **[色抽出スポイト] をクリックします。**

> **参考**
>
> - 自動露出機能を使って補正してから、[カラーパレット調整] 画面で補正してください。
> - 真っ白や黒などを選択すると適切に補正できないことがあります。真っ白や黒に近い色は選択しないでください。

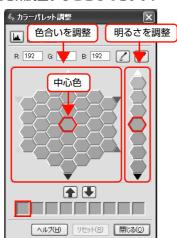
5 **カーソルが🖉に変わったら、プレビュー画像の調整したい色をクリックします。**

🖉 は指定した位置を表します。

選択した色がカラーパレットの中心色（赤い線で囲まれた色）になります。

参考

- スポイトボタンによる調整を中止したいときは、キーボードの［Esc］キーを押してください。
- スポイトボタンのサンプル範囲（測定範囲）は、［環境設定］画面の［プレビュー］画面で［スポイトアイコンのサンプル範囲］で設定できます。

6 カラーパレットで色を選択します。

カラーパレットの色を選択すると、その色に合わせてプレビュー画像が補正されます。
R/G/B の横に数値を入力またはキーボードの↑↓キーで数値を微調整することもできます。

参考

をクリックすると、調整したカラーパレットの中心色を保存できます。をクリックすると保存した色をカラーパレットの中心色に適用できます。肌色など使用頻度が高い色を保存しておくと、類似した画像で色味を比較できます。また、同じような画像を補正するときに同じ色で補正できて便利です。

以上で終了です。

逆光で撮影した画像を補正する(逆光補正)

逆光（光が被写体の後ろから当たっている状態）で撮影した写真をスキャンする際、暗くなってしまった主要な被写体が明るくなるように自動的に補正します。逆光補正機能は、Epson Scan のホームモードとプロフェッショナルモードで使用できます。

ここでは、プロフェッショナルモードでの手順を例に説明します。

逆光を補正した画像例	
使用前	使用後

- 逆光で撮影していない原稿をスキャンするときは、この機能を使用しないでください。
- スキャンする原稿の絵柄によっては、この機能が適切に機能しないことがあります。

1 **Epson Scan を起動して、[プロフェショナルモード] に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 **[逆光補正] をチェックします。**

複数の画像をスキャンするときは、プレビュー画面で取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。[全選択] をクリックするとまとめて設定できます。

逆光補正の横にある「+」(Windows) /「▶」(Mac OS X) をクリックすると、逆光補正の効果を、弱 / 中 / 強から選択できます。

参考

[逆光補正] の設定項目が見つからないときは、下にスクロールしてみてください。[逆光補正] の設定項目は Epson Scan の画面の下の方にあります。

4 **その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

以上で終了です。

明るさとコントラストを調整する 1(簡単設定)

明るさとコントラスト(明暗の差)を調整することによって、スキャンした写真(画像)がよりきれいになります。

明るさは、スキャンする画像が明るすぎたり暗すぎたときに調整します。コントラストは、明暗をはっきりさせたり、逆に明暗の差を少なくするときに調整します。

ここでは、明るさとコントラストを簡単に調整する方法を、ホームモードでの手順を例に説明します。

明るさを調整した画像例	
使用前	使用後

コントラストを調整した画像例	
使用前	使用後

1 **Epson Scan を起動して、[ホームモード] に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 **[明るさ調整] をクリックして、[明るさ調整] 画面を表示します。**

4 **[明るさ]、[コントラスト] のスライダーを動かします。**

複数の画像をスキャンするときは、プレビュー画面で取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。

参考

- テキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 明るさの調整範囲は -100 ~ 100 です。明暗いずれも極端に設定すると、メリハリのない画像になることがあります。
- コントラストの調整範囲は -100 ~ 100 です。コントラストを上げる(スライダを右に動かす)と明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗い画像になります。コントラストを下げる(スライダーを左に動かす)と逆の効果が得られます。

<明るさを調整した例>

－ 20

＋ 50

<コントラストを調整した例>

－ 20

＋ 50

5 **［明るさ調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認してスキャンを実行します。**

参考

プロフェッショナルモード使用時は、［イメージ調整］をクリックして、［イメージ調整］画面で調整してください。

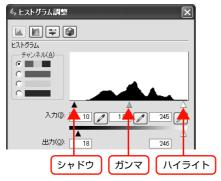
以上で終了です。

明るさとコントラストを調整する 2(ヒストグラム調整)

明るさとコントラスト（明暗の差）を調整することによって、スキャンした写真（画像）がよりきれいになります。
ここでは、ヒストグラムを使って調整する方法を説明します。ヒストグラム調整機能は、Epson Scan のプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

ヒストグラムで明るさとコントラストを調整した画像例	
使用前	使用後

ヒストグラムとは

ヒストグラムとは画像の黒（0）～白（255）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したものです。ヒストグラムを見ると、画像の明るさや暗さの傾向を把握することができます。「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）を調整することによって、画像の明暗を適切に設定できます。

それでは、ちょうどよい明るさとはどんな画像でしょうか？
右図の例をご覧ください。ハイライトやシャドウ、ガンマを調整すると、明暗をさまざまに変化させることができます。

適切な画像（ハイライトも、シャドウも適切）	
ハイライトが弱く、シャドウは適切	ハイライトは適切、シャドウが弱い
ハイライトもシャドウも弱い	ガンマが暗い方向に寄っている

お勧めの調整方法

ちょうどよい明るさになるように、ヒストグラムを使って画質を補正します。

1 **Epson Scanを起動して、[プロフェッショナルモード] に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

3 ［ヒストグラム調整］をクリックします。

［ヒストグラム調整］画面が表示されます。

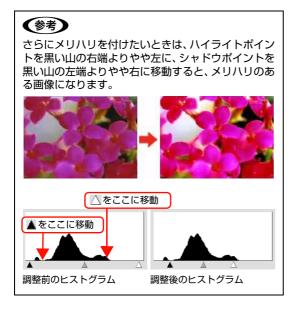
4 ハイライトとシャドウを調整します。

ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動してください。
取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように調整され、コントラストが上がりメリハリが出ます。

調整前のヒストグラム　調整後のヒストグラム

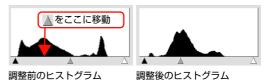
参考

さらにメリハリを付けたいときは、ハイライトポイントを黒い山の右端よりやや左に、シャドウポイントを黒い山の左端よりやや右に移動すると、メリハリのある画像になります。

調整前のヒストグラム　調整後のヒストグラム

5 ガンマを調整します。

ハイライトとシャドウの調整だけでは、全体の明るさが偏ることがあります。
そこで、ハイライトとシャドウの中間にあるガンマポイントを移動して、中間部分の明暗を調整してください。
例えば、夕方や曇りの日に撮ったため全体的に暗くなってしまった写真などは、ガンマポイントを左側に移動すると画面全体が明るくなります。

調整前　調整後

調整前のヒストグラム　調整後のヒストグラム

参考

- 調整する取り込み枠を切り替えたいときは、プレビュー画面上で調整したい枠をクリックしてください。プレビュー画面を一旦閉じる必要はありません。
- 画質調整の精度を上げるには、［環境設定］をクリックして、［プレビュー］タブで［高速プレビュー］のチェックを外してください。プレビュー画像が高品位になります。

- さらに細かく調整したいときは、ハイライトまたはシャドウ点より外側の階調をさらに調整できます。トーンカーブ表示の［端部カーブ形状変更］をクリックして、補正したいメニューを選択してください。

ブースト
本来、白地である部分を真っ白に飛ばしたり、黒地である部分を真っ黒につぶしたいときに選択します。
紙の表面のムラや裏写りを除去したいときにハイライト側で選択すると、白地部分が真っ白に飛ぶので、ムラや裏映りが消えます。
また、黒い部分のムラを除去したいときにシャドウ側で選択すると、黒い部分が真っ黒につぶれるので、ムラが除去されます
ノーマル
ハイライトやシャドウ部分の階調をそのまま表現したいときに選択します。
ソフト
本来、白地ではない部分が真っ白に飛んでしまったときや、真っ黒ではない部分が真っ黒につぶれてしまったときに選択します。

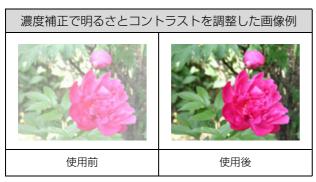
- 厳密な調整を行いたいときは、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、スキャンした画像が適切な明るさや色合いで表示されないため、印刷結果も予測できません。
☞ 本書 106 ページ「ディスプレイの設定」

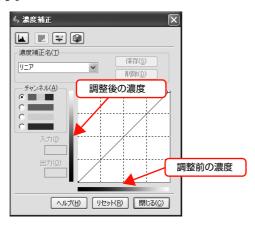
6 ［ヒストグラム調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認してスキャンを実行します。

以上で終了です。

明るさとコントラストを調整する 3(濃度補正)

明るさとコントラスト（明暗の差）を調整することによって、スキャンした写真（画像）がよりきれいになります。
ここでは、濃度補正（トーンカーブ）を使って調整する方法を説明します。濃度補正機能は、Epson Scan のプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

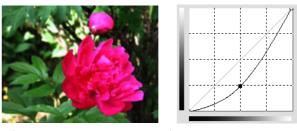
濃度補正で明るさとコントラストを調整した画像例	
使用前	使用後

濃度補正とは

濃度はトーンともいいます。シャドウ（最暗部）からミッドトーン（中間調）、ハイライト（最明部）へと変化していく濃度の曲線（トーンカーブ）を調整することで、画像全体の明るさとコントラストをバランスよく仕上げることができます。

濃度補正（トーンカーブ補正）をすると、下図のように調整できます。

元画像

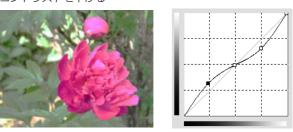
明るくする

グラフの中間を上方向にドラッグすると画像が明るくなります。

暗くする

グラフの中間を下方向にドラッグすると画像が暗くなります。

コントラストを上げる

S 字を描くようにポイントを追加して、ハイライト側を上へ、シャドウ側を下へドラッグすると、コントラストが上がります。

コントラストを下げる

逆 S 字を描くようにポイントを追加して、ハイライト側を下へ、シャドウ側を上へドラッグすると、コントラストが下がります。

お勧めの調整方法

ちょうどよい明るさとコントラストになるように、濃度補正を使って画質を補正します。

参考

- 厳密に調整したいときは、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、スキャンした画像が適切な明るさや色合いで表示されないため、印刷結果も予測できません。
  ☞ 本書 106 ページ「ディスプレイの設定」
- ［原稿種］や［環境設定］画面の［自動露出レベル］の設定により、［濃度補正名］が［自動設定］になります。［自動露出レベル］の詳細は、Epson Scan のヘルプをご覧ください。ヘルプの起動方法は以下のページをご覧ください。
  ☞ 本書 71 ページ「Epson Scan の各項目の説明」

1 **Epson Scanを起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

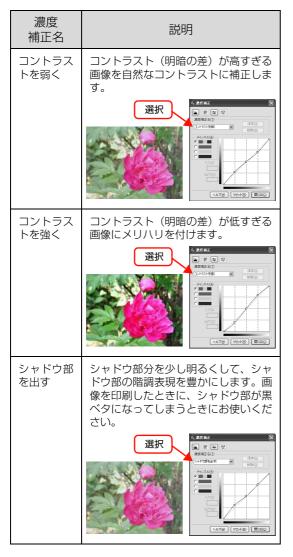
3 **［濃度補正］をクリックします。**

［濃度補正］画面が表示されます。

4 **［濃度補正名］リストから最適なメニューを選択します。**

露出オーバーな画像の補正など代表的なトーンカーブが用意されているので、最適なメニューを選択してから、トーンカーブを微調整することをお勧めします。

濃度補正名	説明
リニア	濃度補正をしません。プレビュー画像上で問題がなければ、［リニア］を選択してください。 選択
より浅い感じに	露出アンダーな（露出不足＝暗い）画像をより浅い（明るい）感じに補正します。 選択
より重い感じに	露出オーバーな（露出過多＝明るすぎる）画像をより重い（暗い）感じに補正します。 選択

濃度補正名	説明
コントラストを弱く	コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を自然なコントラストに補正します。 選択
コントラストを強く	コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像にメリハリを付けます。 選択
シャドウ部を出す	シャドウ部分を少し明るくして、シャドウ部の階調表現を豊かにします。画像を印刷したときに、シャドウ部が黒ベタになってしまうときにお使いください。 選択

5 トーンカーブの微調整したい部分を移動します。

参考

補正前の濃度に戻すには、[濃度補正名] で [リニア] を選択するか、[リセット] をクリックしてください。

6 [濃度補正] 画面の [閉じる] をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認してスキャンを実行します。

[保存] をクリックすると、濃度補正の設定を登録できます。登録の方法は Epson Scan のヘルプをご覧ください。ヘルプの起動方法は以下のページをご覧ください。

☞ 本書 71 ページ「Epson Scan の各項目の説明」

以上で終了です。

添付ソフトウェア情報

必要なソフトウェアを選択してインストール

セットアップ時にインストールされないソフトウェアをインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールできます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除し、コンピュータを再起動してからインストールしてください。

☞ 本書 97 ページ「ソフトウェアの削除」

Windows

1 **Windowsを起動して『ソフトウェアCD-ROM』をセットします。**

Windows Vista/Windows Server 2008:

① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO Epson であることを確認してからクリックします。

② ［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは、［続行］をクリックします。

上記 OS 以外:

2 に進みます。

2 **モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。**

3 **［カスタムインストール］をクリックします。**

4 **インストールするソフトウェアの をクリックします。**

5 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

Mac OS X

1 **Mac OS Xを起動して『ソフトウェアCD-ROM』をセットし、デスクトップの［Epson］のアイコンをダブルクリックします。**

2 **［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。**

3 ［カスタムインストール］をクリックします。

4 インストールするソフトウェアの をダブルクリックします。

5 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

ソフトウェアの削除

インストールしたソフトウェアを削除する方法を説明します。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

！重要 管理者権限のあるユーザーでログオンし、ソフトウェアを削除してください。

Windows

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**

Windows XP/Windows Server 2003/ Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］（または［ ］）－［コントロールパネル］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 **［プログラムのアンインストール］/［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。**

Windows Vista/Windows Server 2008：
［プログラムのアンインストール］をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 2000：
［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

4 **削除するソフトウェアを選択してから［アンインストールと変更］/［変更と削除］をクリックします。**
ここでは、Epson Scan を例に説明します。

Windows Vista/Windows Server 2008：
［Epson Scan］を選択してから［アンインストールと変更］をクリックします。

Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの変更と削除］をクリックし、［Epson Scan］を選択して［変更と削除］をクリックします。

5 **この後は、画面の指示に従ってください。**
削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしてください。

以上で終了です。

参考
続けて再インストールするときは、コンピュータを再起動してください。

Mac OS X

1 起動しているアプリケーションソフトを終了します。

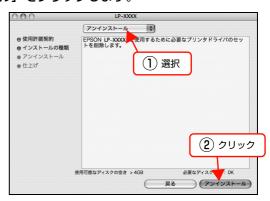
2 Mac OS Xを起動して『ソフトウェアCD-ROM』をセットし、デスクトップの［Epson］のアイコンをダブルクリックします。

3 ［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。

4 以下の画面が表示されますので、［カスタムインストール］を選択します。

5 アンストールするソフトウェアの横にある をダブルクリックします。

6 画面の指示に従って進みます。

7 以下の画面が表示されたら、メニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

8 画面の指示に従ってアンインストール作業を進めます。

最後に［終了］をクリックしてアンインストールを終了します。

以上で終了です。

> **参考**
> 続けて再インストールするときは、コンピュータを再起動してください。

ソフトウェアのバージョンアップ

『ソフトウェア CD-ROM』に収録されている Epson Scan などのソフトウェアは、バージョンアップすることがあります。必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください。

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

<http://www.epson.jp/>

CD-ROM での郵送をご希望の場合は、エプソンディスクサービスが実費にて承ります。

☞『取扱説明書 セットアップ編』（冊子）裏表紙

バージョンアップの手順

ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除 ☞ 本書 97 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手 （ダウンロードまたは郵送）

↓

ファイルを解凍してインストール

付録

コントロールパネルの設定について（スキャナとカメラ）

ここでは、Windows のコントロールパネルに登録される［スキャナとカメラ］の設定を説明します。
［スキャナとカメラ］設定では、接続状態やイベントの設定ができます（USB 接続時のみ）。

1 **USB 接続であることを確認して、本製品の電源を入れます。**

2 **［スキャナとカメラ］フォルダを開きます。**

Windows Vista:
［ ］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［スキャナとカメラ］をクリックします。

Windows XP:
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［スキャナとカメラ］をクリックします。

Windows 2000:
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックして、［スキャナとカメラ］をダブルクリックします。

3 **本製品のアイコンをクリックして［デバイスのプロパティを表示する］、または本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。**

参考
［お使いのスキャナ］アイコンが表示されないときは、ケーブルの接続を確認し、本製品の電源を入れてください。本製品とコンピュータがケーブルで接続されて、本製品の電源が入っていないと、アイコンは表示されません。

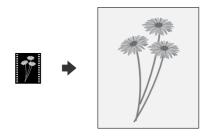
お使いのスキャナの［プロパティ］画面が表示されます。

［全般］画面

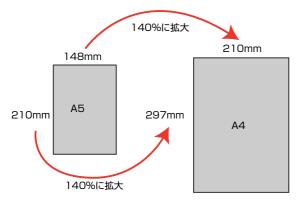
項目	説明
スキャナの状態	接続状態が表示されます。 • 準備完了 正しく接続されていて、スキャンが可能です。 • 使用不可またはオフライン 接続に問題があるため、スキャンが行えません。 この場合は、以下のページを参照して対処してください。 『取扱説明書 操作編』（冊子）「困ったときは」
ポート	スキャナが接続されているポートが表示されます。
［スキャナのテスト］/［デバイスのテスト］	接続状態のテストができます。

拡大 / 縮小と解像度の関係

Epson Scan の［解像度］で設定する解像度は、出力解像度（スキャン後の画像の解像度）を示します。入力解像度（スキャナからスキャンする際の解像度）は、出力解像度の設定、出力サイズの設定、取り込み枠の設定によって自動的に決まります。そのため、拡大 / 縮小する場合、解像度の数値を拡大 / 縮小率に合わせて計算･設定する必要はありません。

拡大/縮小する場合に、入力解像度がどのように決まるか、参考として説明します。

縦横比が同じ原稿の拡大 / 縮小率

A5 サイズの原稿を、A4 サイズで拡大してスキャンする手順を例に説明します。

A5 サイズを A4 サイズに拡大するには、縦横それぞれを 140% に拡大します。

従って、入力解像度は

例えば、A5 サイズの原稿を

出力サイズ：A4
解像度：300dpi

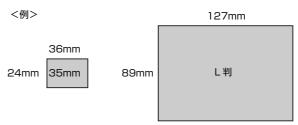
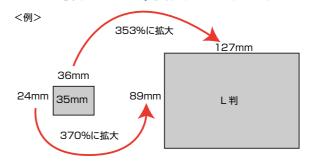
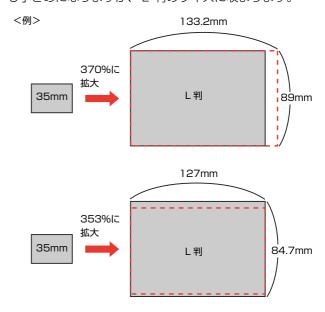
の設定でスキャンした場合

300dpi × 140%= 420dpi

となります。

縦横比が違う原稿の拡大 / 縮小率

縦横比が同じ原稿は、縦横を同じ比率で拡大 / 縮小すればよいのですが、例えば 35mm フィルムを L 判に拡大すると、縦横比が異なります。このような場合、拡大 / 縮小率はどのようになるのでしょうか？

35mm フィルムと L 判はそれぞれ下図のサイズです。

35mm フィルムを L 判の大きさに拡大するには、縦を約 370%、横を 353% に拡大することになります。

この場合、35mm フィルムの縦の長さがちょうど収まる約 370% に拡大すると、横がはみ出してしまいます。横の長さがちょうど収まる約 353% に拡大すると、縦が少し小さめになりますが、 L 判のサイズに収まります。

従って、[出力サイズ] で 35mm フィルムをＬ判で出力するには、縦横の両方が収まる、353% に拡大されます。

入力解像度は

例えば、35mm フィルムを

出力サイズ：Ｌ判
解像度：300dpi

の設定でスキャンした場合

300dpi × 353%＝ 1059dpi

となります。

参考

- 入力解像度と出力解像度を一致させたいときは、出力サイズを等倍に設定してください。

- プロフェッショナルモードを選択している場合、ここの説明は［出力サイズ］のトリミングを［あり］に設定しているとき（初期設定）の例です。

解像度を上げるときれいになる？

解像度を上げると、画素が増え、画像がよりきめ細かになります。しかし、解像度を上げれば上げるほどきれいになるというものではありません。下表を参照して用途に合った解像度を設定してください。

用途	目安となる解像度	説明
E メール送信	96 ～ 150dpi	目安となる解像度以上に上げると、E メールの送受信に時間がかかり、メールを受信する相手に負荷がかかります。なるべくデータが小さくなるように解像度を設定してください。
OCR（光学文字認識）	400dpi	目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。認識率が良くないときは、しきい値を調整してください。しきい値を調整した方が、よりよい効果が得られます。
インクジェットプリンタでの標準の印刷	150dpi（カラー、グレー画像の場合） 360dpi（白黒の線画の場合）	目安となる解像度で十分です。それ以上に上げても印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像のスキャン / 保存 / 読み込み / 印刷などが遅くなります。
インクジェットプリンタでの高品質な印刷	300dpi（カラー、グレー画像の場合） 720dpi（白黒の線画の場合）	
レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合） 600dpi（白黒の線画の場合）	
ディスプレイ表示	96dpi	通常、コンピュータの画面の解像度は 70 ～ 90dpi くらいです。そのため、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi でスキャンしても、画面から画像がはみ出してしまいます。
テキスト検索可能な PDF 作成	200 ～ 400dpi	目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。

また、解像度を上げるほど、多くのハードディスク / メモリ容量を必要とします。

以下は、解像度ごとの画像データの容量です。

原稿の種類	原稿サイズ	解像度		
		150dpi	300dpi	600dpi
カラー写真	L 判*	約 1.1MB	約 4.3MB	約 17.4MB
	A4	約 6.1MB	約 24.5MB	約 98MB
白黒写真	L 判*	約 0.4MB	約 1.4MB	約 5.8MB
	A4	約 2MB	約 8.2MB	約 32.6MB
文字原稿 / 線画	A4	–	約 1MB	約 4MB

＊約 9 × 13cm

参考

- 解像度が 2 倍になると、データ容量は約 4 倍になります。
- スキャンする画像の容量の目安は、Epson Scan のプレビュー画面の下側に、画像のサイズ（ピクセル）、データ容量として表示されます。
- ハードディスクには、最低でもスキャンする画像データ容量の 2 倍以上の空き容量がないと、スキャンすることはできません。
- 反射原稿を 24bit カラーでスキャンするときは、幅 21000 ピクセル、高さ 30000 ピクセル以上はスキャンできません。

色について

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される"色"にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる「色」について説明します。

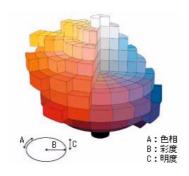
色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度や明度という要素があります。

彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合いをいいます。

例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

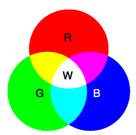
明度は明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化、半径方向が彩度変化、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。

例えば、テレビやディスプレイなどを近くで見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の光が見えます。

これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。

この方法は、どの色も光っていない状態（すべてが 0: 黒）を起点に、すべての色が光っている状態（すべてが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、加法混色（加色法）と呼ばれます。CRT ディスプレイもこの方法で色を表現しています。

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

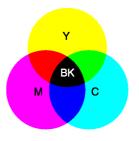
加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができるときです。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります（正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します）。

例えば「赤いインク」では次のようになります。

一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。

この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

理論的には CMY の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、CMYBK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

この RGB → CMY 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。

このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いにズレが生じます。しかし、以下のページで説明している設定によって、色合いをできるだけ近付けることができます。

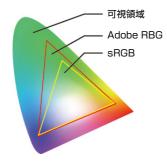
☞ 本書 105 ページ「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ（カラーマネージメント）」

原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ(カラーマネージメント)

カラーマネージメントについて

ここでは作品作りに欠かせない色あわせの知識を紹介します。

色空間

私達が色を知覚できる光を可視光といいます。可視光の範囲（＝可視領域）を図にしたのが以下の図です。

この可視領域の中で、コンピュータ、モニタ、プリンタ、スキャナなどの機器は色を再現することが可能です。各機器はそれぞれに固有の色再現特性をもっているため、再現できる色の領域も異なります。これらの機器で再現可能な色の領域を、その機器の色空間といいます。可視領域の色を全て再現できる機器はありませんが、再現可能な色空間が広いと、より豊かな色再現が可能になります。これらの色空間を代表するものとして、コンピュータやその周辺機器ではsRGBやAdobe RGBといったモニタの特性に準拠した色空間が広く使われています。スキャナで写真をコンピュータに読み込んでプリントするときのように、機器同士で写真データを交換する場合、この色空間を合わせることが大切です。もしAdobe RGBの色空間で取り込んだ画像をsRGBの色空間を使ってプリントした場合、誤った色情報が伝えられ、くすんだ色となります。またsRGBの色空間で取り込んだ画像をAdobe RGBの色空間を使ってプリントすると派手な色となります。

カラーマネージメント

コンピュータ、モニタ、プリンタ、スキャナなど各機器はそれぞれ固有の色再現特性を持っています。そのため、R、G、B3つの色情報をそのまま他の機器に渡しても同じ色を再現できるわけではありません。特性が違う機器間で異なる色を同じ色で再現するためには、共通の色空間を使うか、各機器特有の色情報を一旦共通の色空間に翻訳し、その後色情報を渡す機器の色空間に翻訳し直すなどのプロセスが必要です。これら異なる機器間で扱う色を一貫した方法で管理することをカラーマネージメントと言います。カラーマネージメントには、それぞれの機器で用いる色空間をそろえるだけの簡易的な手法と、ICCプロファイルを用いる高度で柔軟性に富んだ手法があります。

簡易的なカラーマネージメント

ドライバによる色補正

標準化されたモニタの特性を基準として、それぞれの機器（例えばスキャナ）が出力する色を再現することにより、写真データを渡される他の機器（例えばモニタ）は入力された信号が標準的なRGB信号だとみなすことができます。それぞれの機器がこの標準的なRGB信号に対応していれば、特別な色変換なしにほぼ正しく色を再現することができます。この標準的なRGB信号の代表的なものがsRGBです。いわばユーザーが気づかないうちに行われるカラーマネージメントといえます。

ICCプロファイルを使ったカラーマネージメント

ICM/ColorSync

簡易的なカラーマネージメントで説明したように異なる機器同士でも、色空間の設定を合わせることだけでもほぼ問題なく色を再現することができます。これとは別に、各機器特有の色情報を一旦共通の色空間に翻訳し、その後色情報を渡す機器の色空間に翻訳し直す過程を設けると、より柔軟な色管理を行うことが可能となります。この機器固有の色空間を共通の色空間にするために使われる情報を記録した辞書のようなものがICCプロファイルです。

専用のICCプロファイル作成ツール（例えばEZColor）と測色器があれば、ユーザーは、ICCプロファイルを任意に作成できます。個々の機器ごと任意に作成したICCプロファイルを利用すれば、機器のモデルが異なっていても、ICCプロファイルがその特性を吸収し、両者ほぼ同等の色再現となります。このように、ICCプロファイルを使ったカラーマネージメントでは、柔軟な利用方法が可能となります。しかし、その運用にあたっては、色に関する高度な知識が必要となります。

簡易的なカラーマネージメント、ICCプロファイルを使ったカラーマネージメントのいずれの手法においても、画像を保存する際、ファイルにICCプロファイルを埋め込むことにより、その画像の色空間の情報を明確にできるようになります。そして、ICCプロファイルに対応しているアプリケーションソフトでは、埋め込まれたプロファイルを利用して色再現を行います。

機器の性能による見え方の違い

厳密なカラーマネージメントを行うためには、各デバイスの色調整（キャリブレーション）が確実に行われ、それを記録する ICC プロファイルを作成することのほかに、それぞれの機器が同じ色空間に対応している必要があります。

例えば、Adobe RGB の色空間に対応しているスキャナでコンピュータに読み込んだ写真をモニタで見た場合、モニタが Adobe RGB に対応していなければ、本来の色で再現することはできません。モニタでは鮮やかだった色がプリンタ出力するとくすんだ色になるという現象も、機器が対応する色空間の違いから起こることがあります。

Adobe Photoshop Elements などの Adobe RGB 対応のアプリケーションソフトでは、sRGB に対応している一般的なモニタでも、Adobe RGB を擬似的に再現することができます。

ディスプレイの設定

ディスプレイの表示色の設定

画像をよりきれいに表示するために、ディスプレイの表示色を［16bit］、［24bit］などに設定してください。

参考
- 設定できる値や各項目名は、ディスプレイのドライバなどの性能によって異なります。詳細は、お買い求めいただいたディスプレイのメーカーへお問い合わせください。
- すべてのアプリケーションソフトを終了してから設定することをお勧めします。

1 表示色の設定をする画面を開きます。

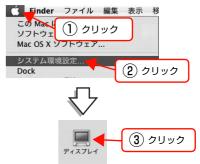
Windows Vista の場合

デスクトップ上のアイコンのない場所にカーソルを移動させ、右クリックして、［個人設定］をクリックし、［画面の設定］をクリックします。

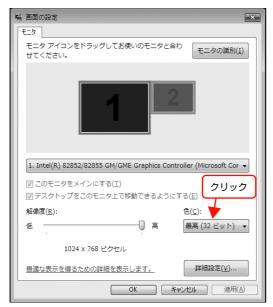
Windows 2000/Windows XP の場合

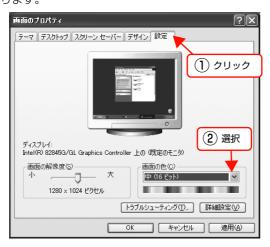
デスクトップ上のアイコンのない場所にカーソルを移動させ、右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

Mac OS X の場合

［アップル］メニュー［システム環境設定］－［ディスプレイ］の順にクリックします。

2 表示色を選択します。

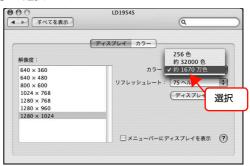
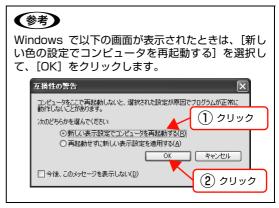
Windows Vista の場合

［色］で 16、24、32 ビット（可能であれば 24 または 32 ビット）などを選択します。

Windows 2000/Windows XP の場合

［設定］（または［ディスプレイの詳細］）のタブをクリックして、［画面の色］または［色］（［カラーパレット］）で 16、24、32 ビット（可能であれば 24 または 32 ビット）などを選択します。
設定値は、ディスプレイのドライバなどによって異なります。

Mac OS X の場合

［カラー］で［約 32000 色］または［約 1670 万色］を選択します。

3 画面を閉じます。

参考

Windows で以下の画面が表示されたときは、［新しい色の設定でコンピュータを再起動する］を選択して、［OK］をクリックします。

以上で終了です。

ディスプレイの調整

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャンした画像を適切な明るさや色合いで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を厳密に行うためには、測定機器などが必要になります。ここでは、簡単な調整方法を紹介します。

1 室内の照明環境を一定にします。

自然光は避けて、一定の照明条件になるようにしてください。フードを装着すると効果的です。

2 ディスプレイの電源を入れて、30 分以上放置します。

30 分以上放置することによって、ディスプレイの表示が安定します。
これ以降の手順は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照して調整してください。

3 ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。

4 ディスプレイのブライトネスを調整します。

5 ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャンした画像の色が原稿または印刷結果に近くなるように調整します。

6 調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。

以上で終了です。

上記の調整を行っても、明るさや色合いが合わない部分もあります。もっとも気になる部分（肌色など）を重点的に調整することをお勧めします。

システムのカラーマネージメントの設定

同じ画像データを扱っても、お使いのディスプレイやプリンタによって、色が異なって見えることがあります。この装置間の色のずれを補正する方法として、カラーマネージメントシステムがあります。お使いのディスプレイがICMまたは ColorSync に対応している場合は、ディスプレイ用のカラープロファイルをシステムに追加してみてください。

Windows Vista の場合

① デスクトップ上でマウスを右クリックし、［個人設定］－［画面の設定］の順にクリックします。

② ［詳細設定］をクリックします。

③ ［色の管理］タブをクリックし、お使いのディスプレイ用のカラープロファイルを追加します。

Windows 2000/Windows XP の場合

① デスクトップ上でマウスを右クリックし、［プロパティ］を選びます。

② ［設定］タブをクリックし、［詳細設定］をクリックします。

③ ［色の管理］タブをクリックし、お使いのディスプレイ用のカラープロファイルを追加します。

Mac OS X の場合

① ［アップル］メニューをクリックし、［システム環境設定］をクリックして、［ディスプレイ］をクリックします。

② ［カラー］タブをクリックし、リストからプロファイルを選択します。

以上で終了です。

参考

- Adobe ガンマユーティリティなどを使って独自のディスプレイプロファイルを作成している場合は、そのプロファイルを選択することをお勧めします。
- ディスプレイ用のカラープロファイルは、ディスプレイのメーカーから提供されるものです。そのため、お使いのディスプレイ用のカラープロファイルが提供されているかどうか、またプロファイル名については、ディスプレイのメーカーにお問い合わせください。

スキャン時の設定

1 **Epson Scan を起動して、[オフィスモード] または［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

ここでは Epson Scan だけ起動する場合を例に説明します。

☞ 本書 64 ページ「Epson Scan を起動」
☞ 本書 65 ページ「スキャンモードの切り替え」

2 **［環境設定］をクリックして、［カラー］タブをクリックします。**

3 **[ICM] または [Color Sync] を選択して、[ソース（スキャナ)] と［ターゲット］のプロファイルを設定します。**

参考

- ソースプロファイル
  入力装置（スキャナ）のプロファイルのことです。Epson Scan には、スキャナの色再現特性を表した、反射原稿とカラーフィルム用の ICC プロファイル（カラーフィルム用はフィルムスキャン対応機種のみ）が用意されています。[Epson 標準] を選択すると、原稿種にかかわらず、自動的にお使いの機種に対応した ICC プロファイルを参照します。市販のデバイスプロファイル作成ユーティリティなどを使用して、スキャナの ICC プロファイルを作成した場合には、そのプロファイルを [ソース（スキャナ)] で選択してください。
- ターゲットプロファイル
  出力装置のプロファイルのことで、アウトプットプロファイルまたはディスティネーションプロファイルともいいます。Epson Scan の［ターゲット］では、現在使用しているディスプレイのプロファイル、sRGB または Adobe RGB などのカラースペースをプロファイルとして設定します。

4 **必要に応じて、画質調整します。**

5 **［スキャン］をクリックして、画像をスキャンします。**

以上で終了です。

印刷時の設定

印刷時に［ICM］または［Color Sync］を選択して印刷します。

Windows の場合

① ［応用設定］画面で［印刷品質］の［詳細］をクリックし、［詳細設定］をクリックします。

② ［詳細設定］画面で［ICM］をクリックして画面を閉じます。

③ 印刷を実行します。

Mac OS X の場合

① ［基本設定］画面で［モード］の［詳細］をクリックし、［詳細設定］をクリックします。

② ［詳細設定変更］画面で［Color Sync］をクリックして画面を閉じます。

③ 印刷を実行します。

以上で終了です。

画像ファイル形式について

スキャンするときに、エプソンのスキャナではさまざまなファイル形式を指定できます。
用途に応じて、またはお使いのソフトウェアが各形式に対応しているかご確認の上、保存するファイル形式を決めてください。

JPEG 形式（＊.JPG）	圧縮形式のファイルです。圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化します（圧縮前のデータに戻すことはできません）。保存のたびに劣化していくためスキャン後に画像を加工するときは TIFF 形式で保存することをお勧めします。 ICC プロファイル（スキャンした画像の色再現特性の情報）を付加できます。
TIFF 形式（＊.TIF）	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。ICC プロファイル（スキャンした画像の色再現特性の情報）を付加することができます。
Multi-TIFF 形式（＊.TIF）	TIFF 形式ですが、複数ページのデータを 1 つのファイルにまとめて保存できます。
BMP 形式（＊.BMP）	多くの Windows 用ソフトウェアに対応しているファイル形式です。
PICT 形式（Mac OS X のみ）（＊.PCT）	Mac OS X 標準の画像ファイル形式です。ほとんどの Mac OS X 用ソフトウェアに対応しています。
PDF 形式（＊.PDF）	Windows と Mac OS X で、画面表示、印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。 PDF形式のファイルを開くにはAdobe Acrobat、Acrobat ReaderまたはAdobe Readerが必要です。入手方法や最新情報は、アドビシステムズ社のホームページをご覧ください。
PRINT Image Matching II（JPEG）（＊.JPG）	PRINT Image Matching II（画像の持つ微妙な色合いの情報を画像データ内に保存して、メリハリのある画像を印刷するための仕組み）による画像補正に対応した、JPEG 形式のファイルです。
PRINT Image Matching II（TIFF）（＊.TIF）	PRINT Image Matching II（画像の持つ微妙な色合いの情報を画像データ内に保存して、メリハリのある画像を印刷するための仕組み）による画像補正に対応した、TIFF 形式のファイルです。

索引

A

B

C

E

I

J

M

N

O

P

R

T

U

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

た

つ

て

と

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

も

ゆ